

保健管理センター業務報告書

(2019年度版)

筑波大学保健管理センター

目 次

1. 保健管理センター沿革	1
2. 保健管理センター細則	3
3. 保健管理センター運営委員会	
1) 運営委員名簿	11
2) 運営委員会議事	12
4. 保健管理センターの組織図及び職員	
1) 組織図	13
2) 職員	14
5. 対応業務等	15
6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断	17
7. 学生健康診断	
1) 定期健康診断	
i) 受診状況	18
a) 学群生	18
b) 大学院生	19
c) 研究生等	19
ii) 健康診断再検査者	20
2) 特殊健康診断	
i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	21
ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	21
iii) 特定化学物質健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	21
8. 職員健康診断	
1) 一般健康診断	
i) 受診者数及び受診率	22
ii) 項目別有所見者数及び率とその内訳	23
iii) 労働安全衛生規則13条第1項第2号の業務（特定業務）の従事者	24
iv) 胃造影検査	24
2) 特殊健康診断	
i) 電離放射線健康診断（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）	25
ii) 有機溶剤健康診断（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）	25
iii) 特定化学物質健康診断（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）	25
3) 特定健康診査（メタボリックシンドローム健康診断）	26
4) その他	
i) 便潜血反応検査	27

ii) P S A検査	27
9. 保健管理センター利用状況	
1) 健康相談月別利用状況	
i) 学生内科受診数	28
ii) 学生整形外科受診数	28
iii) 学生外科処置受診数	28
iv) 学生歯科受診数	29
v) 学生精神科受診数	29
vi) 職員・その他	30
2) 診療収入等	31
10. その他	
1) インフルエンザワクチン接種	32
2) H B s 抗原抗体検査	32
3) 臨床検査実施数	33
4) エックス線写真撮影件数及び枚数	34
5) 処方箋発行数	35
6) 外部診療機関紹介状況	36
7) 健康診断証明書等発行数	36
8) 救護活動	37
9) 救急箱貸出数	38
10) 医療安全教育研修	39
11. 研究業績	40

1. 保健管理センター沿革

昭和48年10月の筑波大学の開学にあわせて、保健管理センターが設置された。昭和49年4月に専任の職員が発令となり、オリンピック記念青少年総合センターにおいて開かれた新入学生オリエンテーション以降、臨床医学系教員ほか関係各位の協力を得て救護活動を開始した。

昭和49年6月3日に筑波地区での講義開始に合せ、体育合宿所の一部で本格的業務を開始し、昭和50年7月に専用の建物が現在地に竣工し、移転した。

なお、昭和49年9月から、文部省（現文部科学省）共済組合筑波大学支部診療所が当センターに併設され、以後その業務についてもセンター職員が兼務している。

昭和53年3月31日の東京教育大学の閉学、筑波大学への移管に伴い、東京教育大学で健康管理業務を担ってきた健康相談所も閉鎖され、本学東京地区職員の健康管理業務は当センターが行うことになった。

昭和54年10月から、一の矢学生宿舎に夜間医務室を設け、医師が宿泊し夜間の救急に備えた。

開学当初は学生相談の対応とともに内科、精神科、整形外科及び歯科を開設し、昭和50年に眼科（～平成元年度）、また昭和57年には婦人科（～平成8年度）が開設され、さらに昭和63年には運動選手を主たる対象とするスポーツ・クリニックも始められた。

平成元年に創立15周年を迎え、記念誌「健康への歩み」を発行した。

平成3年7月に、本学が当番大学となり第29回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館国際会議室において開催した。

平成3年末に、附属病院の救急部の新設や近隣病院の開設等の医療体制の整備に伴い、一の矢学生宿舎の夜間医務室を廃止した。また、プロジェクトとしてのスポーツ・クリニックが終了し、平成4年度からはスポーツ外来部門を当センターの業務、トレーニング・クリニック部門を体育センターの業務とするスポーツ・クリニックがスタートした。

平成6年には、創立20周年を迎え、記念誌「学生相談室20周年誌」を発行した。

平成9年12月に、センター事務室等の改修工事が行われ、事務部門及び看護部門を一体化し、サービスセンターとしての機能の向上を図った。

平成10年4月から、健康診断実施業務の充実と省力化を図るため外部業者に業務委託を行うとともに、関連業務の効率化を図るための電算化を開始した。

平成11年には、健康診断業務の電算化をさらに推進し、受診者の健康管理や健康診断証明書発行業務等での一層の効率化を図った。また、創立25周年を迎え、記念誌を発行した。

平成14年10月の図書館情報大学との統合に伴い同大学体育・保健センターの保健部門との組織及び業務の統合が行われた。

平成16年4月の国立大学法人化に伴い、当センターも労働安全衛生法に基づく労働安全衛生業務を担当することになり、センター職員も産業医や衛生管理者として専門的業務に対応することになった。

平成19年7月に、本学が当番大学となり第45回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館講堂において開催した。

平成20年1月に、学生健康診断証明書の証明書自動発行機からの発行が開始となり、学生の利便性が図られた。

平成23年3月に、学生相談のWEBサイトのリニューアルを行い、モバイルサイトを構築した。

平成24年2月に、学生相談窓口を春日エリアにも開設した。

平成24年3月に、保健管理センターホームページのリニューアルを行った。

平成25年10月1日から、耐震改修工事のため、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所を休診とし、当センターのみ11月11日に、クラブハウスに仮移転して診療業務を開始した。なお、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所は、耐震改修後の併設が困難なことから、平成26年1月31日に廃止した。

平成26年6月24日に、当センターの耐震改修工事が完了したため、仮移転先のクラブハウスから移転した。

平成27年10月から、本学附属病院主催の「診療の安全に関する研修」（年2回開催）を当センターにてDVD研修として実施した。

平成28年6月に設置された保健管理センターのあり方検討会を経て、11月に保健管理センター改革準備委員会が設置され、平成29年6月に役員会において改革提言（診療の有償化、健診・救護に関わる業務の効率化、学生相談・メンタルヘルス対策充実に関わる体制・環境の見直し及び管理・運営体制の見直し）が報告された。

改革提言のもと、平成30年4月よりセンター組織をフィジカルヘルス部門とメンタルヘルス部門に分け、副所長を設置した。さらに入試救護の集約化、後発医薬品の積極採用が行われた。平成31年1月からは診療情報管理システム“THOCS”を導入し、診療料金等の有償化を開始した。同年4月、保健管理センターから学生相談室を分離独立させ、学生相談体制の強化を図った。また、スポーツ・クリニックを整形外科に統合した。さらに、同年度より健康診断における法定外の項目を中心とする検査項目の見直しが行われた。

令和元年11月に感染症予防対策の一環として、希望者に対し、インフルエンザワクチン接種を実施した。

2. 保健管理センター細則

〔平成16年4月1日〕
〔保健管理センター部局細則第1号〕

改正 平成26年保健管理センター部局細則第1号
平成30年保健管理センター部局細則第1号
平成30年保健管理センター部局細則第2号
平成31年保健管理センター部局細則第1号
令和元年保健管理センター部局細則第1号
令和元年保健管理センター部局細則第2号

保健管理センター細則

(趣 旨)

第1条 この部局細則は、国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則（平成16年法人規則第1号。以下「基本規則」という。）第51条第5項の規定に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(目 的)

第2条 センターは、国立大学法人筑波大学（以下「本学」という）における保健管理に関する専門的な業務を行い、もって本学の学生及び職員の心身の健康の維持及び増進を図ることを目的とする。

(業 務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学生及び職員等の健康管理等についての企画及び立案に関すること。
- (2) 学生及び職員等の定期及び臨時の健康診断の実施並びに保健指導に関すること。
- (3) 学生及び職員等の急病等に対し応急診療及び救急処置を行うこと。
- (4) 学生及び職員等の健康相談に応じること。
- (5) 学生のメンタルヘルスに関する相談、診療及び企画を行うこと。
- (6) 環境衛生及び伝染病の予防に関し教育指導を行うこと。
- (7) 心身の健康障害の予防及び保健管理の充実向上のための専門的調査研究を行うこと。
- (8) その他健康管理等に関する専門的業務を行うこと。

2 センターは、前項各号の業務のうち職員に係るものについては、基本規則第35条第1項及び国立大学法人筑波大学職員の安全衛生管理規則（平成16年法人規則第29号）第10条に規定する特別な組織として設置される環境安全管理室と連携して、これを行うものとする。

(診療料金等)

第4条 前条第1項第3号及び第5号に規定する診療及び処置に関する業務において、診察費、薬剤費、検査費、処置費、書類作成費等（以下「診療料金等」という。）を徴収する。

2 前項に規定する診療料金等の額及び徴収方法は、別表のとおりとする。

3 第1項に規定する診療料金等の領収証書、領収済報告書及び原符の様式は、それぞれ別記様式第1号から第3号までのとおりとする。

(副所長)

第5条 センターに、副所長を置く。

2 副所長は、センターの業務に従事する大学教員のうちからセンターの長（以下「所長」という。）が指名する。

3 副所長は、所長の職務を補佐する。

4 副所長の任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、副所長となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

(部 門)

第6条 センターに、次の表の左欄に掲げる部門を置き、同表右欄の業務を担当する。

名 称	担当業務
フィジカルヘルス部門	身体の健康に関する業務
メンタルヘルス部門	メンタルヘルスに関する業務

2 前項に規定する部門にリーダーを置き、所長が指名する。

3 リーダーは、第1項に掲げる業務を統括する。

4 リーダーの任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、リーダーとなる日の属する年度の翌年度の末日とする。

(運営委員会)

第7条 センターに、基本規則第53条第1項に規定する運営委員会として、センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、センターの管理運営に関する基本的な事項を審議する。

3 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

(1) 所長

(2) 副所長

(3) センターの業務に従事する大学教員 2人

- (4) 人間系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員 2人
- (5) 医学医療系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員 3人
- (6) その他センターの維持運営に係る大学教員 4人
- (7) 学生部長

第8条 前条第3項第3号から第6号までの委員の任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、委員となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

- 2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 前2項の委員は、再任されることができる。

第9条 委員会に委員長を置き、第7条第3項第1号の委員をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を主宰する。
- 3 委員長に事故があるときは、第7条第3項第2号の委員がその職務を代行する。

第10条 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(専門研究員)

第11条 センターに、特定の業務について調査研究を行わせるため、専門研究員を置くことができる。

- 2 専門研究員は、大学教員のうちから所長が指名する。
- 3 専門研究員の任期は、1年とする。ただし、任期の終期は、専門研究員となる日の属する年度の末日とする。

(センター会議)

第12条 センターに、センターの業務の円滑な運営を図るため、センター会議を置く。

- 2 センター会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この部局細則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則施行前に運営委員会の委員である者であって、この部局細則施行後も当該委員として任期が引き続くものについては、この部局細則により運営委員会の委員となるものとみなす。ただし、その任期は、第5条第1項本文の規定にかかわらず、この部局細則施行の日から平成17年3月31日までとする。

附 則（平26. 12. 16 保健管理センター部局細則 1 号）

この部局細則は、平成26年12月16日から施行し、改正後の国立大学法人筑波大学保健管理センター細則の規定は、平成25年4月1日から適用する。

附 則（平30. 3. 20 保健管理センター部局細則 1 号）

この部局細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平30. 12. 21 保健管理センター部局細則 2 号）

この部局細則は、平成31年1月1日から施行する。

附 則（平31. 3. 1 保健管理センター部局細則 1 号）

この部局細則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令元. 9. 6 保健管理センター部局細則 1 号）

この部局細則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則（令元. 10. 8 保健管理センター部局細則 2 号）

この部局細則は、令和元年11月1日から施行する。

別表（第4条関係）

1 診療料金等の額

単位：円

項 目		内科	整形外科	歯科	精神科
(1) 診察費		500	500	500	1,000
(2) 薬剤費		300	300	300	1,000
(3) 検査費	(a) レントゲン	500	500	500	500
	(b) 心理検査				1,000
	(c) 心理検査（簡易）				500
	(d) その他の検査	500	500	500	500
(4) 処置費	(a) 医師処置	500	500	500	500
	(b) 歯科衛生士処置			500	
(5) 書類作成費等	(a) 紹介状	1,000	1,000	1,000	1,000
	(b) 診断書（センターの診療に基づくもの）	1,000	1,000	1,000	1,000
	(c) 特殊診断書	2,000	2,000	2,000	2,000
	(d) レントゲンコピー	500	500	500	500
	(e) 検査結果コピー	500	500	500	500
	(f) その他	1,000	1,000	1,000	1,000
(6) ワクチン接種料	(a) インフルエンザ	2,500			

2 診療料金等の徴収方法

(1) 定期健康診断の呼出し診療

定期健康診断の呼出しによる診療及び再検査は、無料とする。ただし、当日に薬剤処方が必要な場合は、薬剤費を徴収する。

(2) 1診療科を受診する場合

レントゲン及び心理検査以外の検査は、複数行われた場合であっても、検査費は500円とする。

(3) 複数の診療科を受診する場合

診察費、薬剤費、検査費及び処置費は、それぞれの診療科の診療料金等の額の合計額とする。

(4) その他

(ア) 学生及び職員の定期健康診断に基づく健康診断証明書の作成は無料とする。

(イ) 来所証明書及びSPEC指示書の作成は無料とする。

(ウ) 看護師健康相談及び処置のない歯科衛生士健康相談は無料とする。

(エ) 松葉杖等装具貸出しは無料とする。

(オ) 学生の保護者、又は指導教員等に対する相談は無料とする。

(カ) 特殊診断書には、センターの診療に基づく定型の診断書以外のすべての診断書を含む。

領 収 証 書		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額		千	百
		十	万
		千	百
		十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印	
		円	
		円	
		円	
合計金額		円	
(大きさ A4)			

領 収 済 報 告 書		No	
		(摘要)	
殿			
領 収 金 額	千	百	十 万 千 百 十 円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印	
		円	
		円	
		円	
合計金額		円	
		円	
(大きさ A4)			

別記様式第 3 号 (第 4 条関係)

原 符		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額		千	百
		十	万
		千	百
		十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印	
		円	
		円	
		円	
合計金額		円	
(大きさ A4)			

3. 保健管理センター運営委員会

1) 運営委員名簿

2019年7月22日現在

氏名	職名	所属	任期	備考
(センター所長)				
◎坂本透	准教授	医学医療系	-	
(センター副所長)				
太田深秀	准教授	医学医療系	-	
(センターの業務に従事する大学教員)				
久賀圭祐	教授	医学医療系	2018. 4. 1～2020. 3.31	
白鳥裕貴	講師	医学医療系	2019. 4. 1～2020. 3.31	
(人間総合科学研究科の業務に従事する大学教員)				
藤田晃之	教授	人間系	2019. 4. 1～2021. 3.31	
杉江征	教授	人間系	2019. 4. 1～2021. 3.31	
檜澤伸之	教授	医学医療系	2019. 4. 1～2021. 3.31	
家田真樹	教授	医学医療系	2019. 4. 1～2021. 3.31	
川上康	教授	医学医療系	2019. 4. 1～2020. 3.31	
(その他センターの維持運営に関する大学教員)				
中村修	教授	環境安全管理室	2018. 4. 1～2020. 3.31	環境安全管理室長
加賀信弘	教授	人文社会系	2018. 4. 1～2020. 3.31	学生生活支援室長
白木仁	教授	体育系	2019. 7.22～2020. 3.31	体育センター長 (職務代行)
新井哲明	教授	医学医療系	2018. 4. 1～2020. 3.31	附属病院 精神神経科グループ長
(本部部長であって学生生活に関する業務に従事する職員)				
佐藤勤	部長	学生部	-	

◎は委員長を示す。

2) 運営委員会議事

2019年度の運営委員会は3回開催し、通常議題のほか、保健管理センター細則の一部改正（専門研究員の設置、インフルエンザワクチンの接種）等について審議を行った。

第1回 2019年9月6日開催

- 議題等 ・ 保健管理センター細則の一部改正について
（保健管理センター専門研究員設置）
・ 2019年度保健管理センター年度計画について

第2回 2019年12月18日～27日メール審議開催

- 議題等 ・ 保健管理センター細則の一部改正について
（ワクチン接種料の追加）

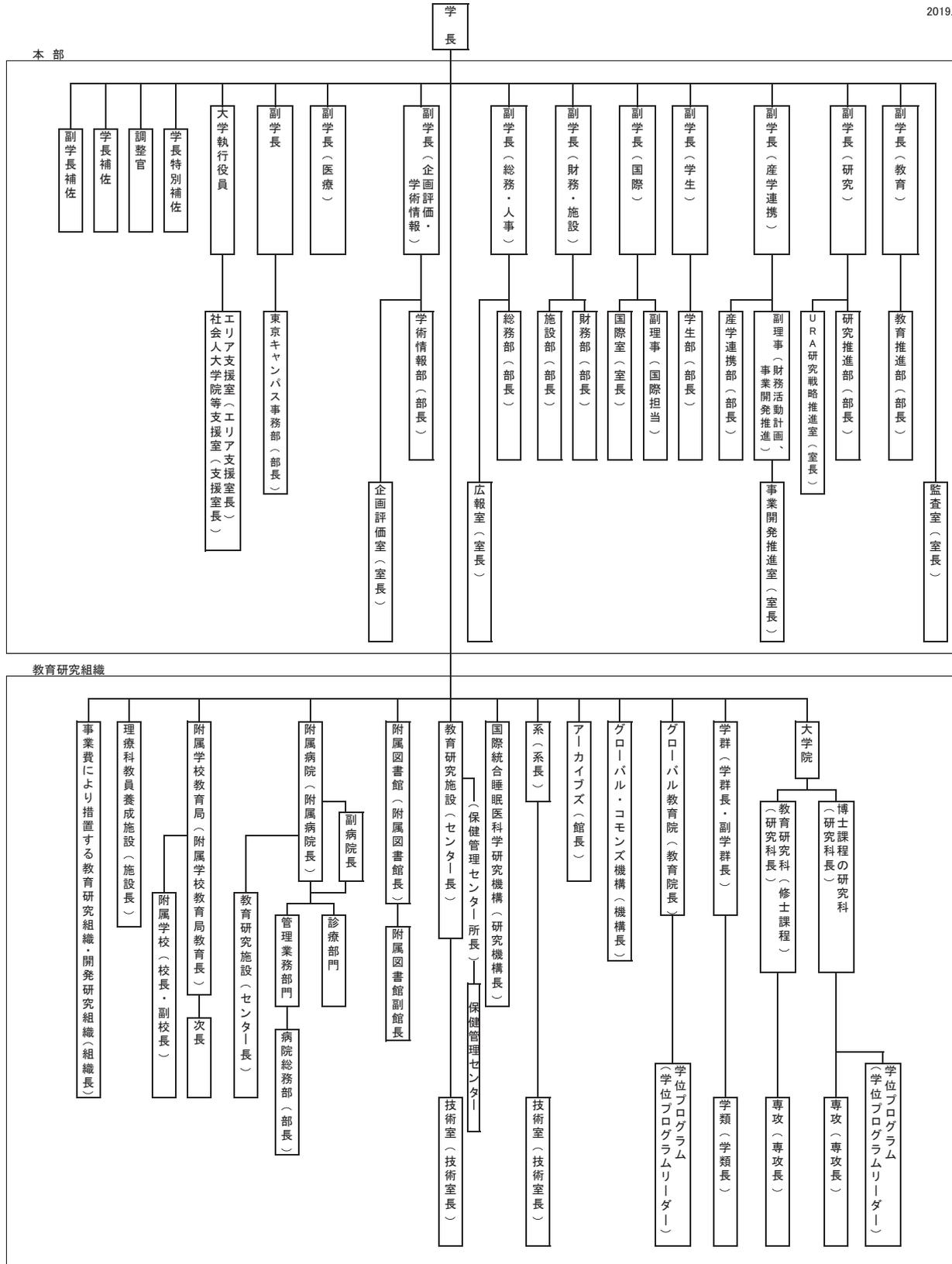
第3回 2019年10月7日～8日メール審議開催

- 議題等 ・ 保健管理センター所長の候補者の内申について

4. 保健管理センターの組織図及び職員

1) 組織図

2019.4.1



2) 職 員

所 長 内 科：坂本 透 准教授

副 所 長 精 神 科：太田 深秀 准教授

教 員 内 科：久賀 圭祐 教授*，長谷川 直之 講師*
整形外科：船山 徹 講師
精 神 科：白鳥 裕貴 講師，袖山 紀子 助教

医 療 職 員 岡本 祐子 看護師，寺門 恵美子 看護師，大川 明日香 看護師，
山崎 泰代 看護師，上等 美貴 保健師，柳町 直哉 薬剤師
福島 幸子 歯科衛生士，片岡 裕司 診療放射線技師

事 務 職 員 井桁 義行 主幹，鈴木 文子 係長

非 常 勤 医 師 榎本 真美 (内科)，野口 佳子 (内科)，望月 美恵 (内科)，
埜口 博司 (整形外科)，宮本 芳明 (整形外科)，武田 さき子 (歯科)，
竹田 弘美 (歯科)，石井 映美 (精神科)

非 常 勤 職 員 等 渡邊 明子 薬剤師，稲葉 由美子 臨床検査技師，
宣 聖美 臨床心理士 (テスター) (~9/30)，松木 博 シニアスタッフ，
鈴木 京子 シニアスタッフ (~9/30)，米山 和男 シニアスタッフ (~9/30)，
黒堀 沙織 事務補佐員，時安 美慧 事務補佐員 (9/1~)，
山村 宗太 派遣職員 (10/1~)

(注) *は産業医

他に臨床医学域，心理学域，体育系からの多数の教員の御協力，御支援をいただいた。

5. 対 応 業 務 等

4月	<p>入学式救護と新入生オリエンテーション対応</p> <p>学群学生，大学院学生，研究生，日本語研修生等の定期健康診断と再検査</p>
5月	<p>放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断</p> <p>学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査</p> <p>障害のある学生定期健康診断</p> <p>職員一般定期健康診断</p> <p>学生・職員特殊健康診断</p> <p>職員便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査</p> <p>春季スポーツ・ゲー救護</p>
6月	<p>職員一般定期健康診断</p> <p>学生・職員特殊健康診断</p> <p>職員の便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査</p> <p>職員一般定期健康診断（東京地区）</p> <p>学生・職員特殊健康診断（東京地区）</p> <p>職員の便潜血検査・喀痰検査・前立腺特異抗原（PSA）検査（東京地区）</p> <p>学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査</p> <p>体育専門学群学生水泳臨海実習参加者健康診断審査・精密検査</p>
7月	<p>放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断</p> <p>学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査</p> <p>共通科目「体育」集中実習（水辺活動）受講学生に対する健康診断審査・精密検査</p> <p>大学院推薦入学試験に伴う救護</p> <p>学群編入学試験に伴う救護</p>
8月	<p>体育専門学群学生水泳臨海実習参加者健康診断審査・精密検査</p> <p>大学院入学試験に伴う救護</p> <p>受験生のための筑波大学説明会に伴う救護</p> <p>関東甲信越大学体育大会に伴う救護</p> <p>全国大学保健管理協会・関東甲信越地方部会研究集会参加</p>
10月	<p>アドミッションセンター入学試験（第Ⅰ期），国際科学オリンピック特別入学試験，国際バカロレア特別入学試験に伴う救護</p> <p>大学院入学試験（10月期）に伴う救護</p> <p>全国大学保健管理研究集会参加</p>

11月	秋学期入学者・外国人留学生健康診断と再検査 学生・職員特殊健康診断・眼底検査 放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 職員特殊健康診断（東京地区） 職員の胃エックス線検査・眼底検査（東京地区） 学園祭に伴う救護 秋季スポーツ・デー救護 学群推薦入学試験に伴う救護 学群推薦入学試験（体育専門学群）に伴う精密検査 インフルエンザワクチン接種
12月	職員の胃エックス線検査 大学院（グローバル教育院）入学試験に伴う救護 インフルエンザワクチン接種
1月	大学院入学試験に伴う救護（東京地区） 大学院入学試験（2月期）に伴う救護 個別学力検査等試験前期日程に伴う精密検査・救護
2月	学生定期健康診断（医学類，看護・医療科学類，教育実習，介護等体験） 個別学力検査試験後期日程に伴う救護
3月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 卒業式・学位記授与式に伴う救護

（注）（東京地区）の記載のないものはすべて筑波地区で実施したものの。

標記の行事等対応業務のほか、次の日常的な主要業務を行った。

- ・内科，整形外科，スポーツクリニック，歯科，精神科の日常診療，健康相談，随時応急措置
- ・学生健康診断追加検査
- ・学生，職員要経過観察者の管理
- ・精神衛生相談，職業適性テスト，ロールシャッハテスト
- ・健康診断証明書の発行
- ・スポーツ健康診断
- ・海外派遣労働者健康診断

6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学 群 個 別 学 力 検 査											21		21
											21		21
学 群 推 薦 A C 入 試								21					21
								21					21
科 目 等 履 修 生 群 生													
大 学 院													
科 目 等 履 修 生 大 学 院 研 究 生													
研 究 生 ・ 聴 講 生													
理 療 科 教 員 養 成 施 設						6		14					20
						0		0					0
外 国 人 留 学 生													
2 学 期 入 学 編 入 学													
計						6		35			21		62
						0		21			21		42

※上段は書類審査数，下段は精密健康診断を実施

7. 学 生 健 康 診 断

1) 定期健康診断

i) 受診状況

a) 学群生

学 群 ・ 学 類	在籍者数 (人)						受診者数 (人)						受診率 (%)								
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
人文・ 文化学群	人文学類	131	127	125	150		533	121	80	75	91		367	92.4%	63.0%	60.0%	60.7%				68.9%
	比較文化学類	81	86	84	121		372	80	82	58	80		300	98.8%	95.3%	69.0%	66.1%				80.6%
	日本語・日本文化学類	42	41	47	54		184	42	40	38	41		161	100.0%	97.6%	80.9%	75.9%				87.5%
社会・ 国際学群	社会学類	85	86	103	125		399	85	73	87	82		327	100.0%	84.9%	84.5%	65.6%				82.0%
	国際総合学類	85	86	97	131		399	83	66	69	75		293	97.6%	76.7%	71.1%	57.3%				73.4%
	教育学類	35	39	36	43		153	35	35	33	32		135	100.0%	89.7%	91.7%	74.4%				88.2%
人間学群	心理学類	53	52	55	58		218	53	39	47	45		184	100.0%	75.0%	85.5%	77.6%				84.4%
	障害科学類	37	39	39	38		153	36	38	29	33		136	97.3%	97.4%	74.4%	86.8%				88.9%
	生物科学類	84	84	101	111		380	83	77	79	78		317	98.8%	91.7%	78.2%	70.3%				83.4%
生命環境 学	生物資源学類	129	128	159	179		595	127	120	135	130		512	98.4%	93.8%	84.9%	72.6%				86.1%
	地球学類	53	52	57	65		227	52	49	49	39		189	98.1%	94.2%	86.0%	60.0%				83.3%
	数学類	41	40	40	46		167	39	32	33	34		138	95.1%	80.0%	82.5%	73.9%				82.6%
理工学群	物理学類	61	61	65	80		267	59	35	34	48		176	96.7%	57.4%	52.3%	60.0%				65.9%
	化学類	51	50	53	55		209	51	45	30	44		170	100.0%	90.0%	56.6%	80.0%				81.3%
	応用理工学類	124	119	137	163		543	114	94	103	78		389	91.9%	79.0%	75.2%	47.9%				71.6%
情報学群	工学システム学類	137	137	139	159		572	134	123	102	95		454	97.8%	89.8%	73.4%	59.7%				79.4%
	社会工学類	122	121	126	151		520	122	98	103	97		420	100.0%	81.0%	81.7%	64.2%				80.8%
	情報科学類	86	82	99	119		386	85	71	54	74		284	98.8%	86.6%	54.5%	62.2%				73.6%
情報学群	情報メディア創生学類	55	55	65	80		255	53	45	53	51		202	96.4%	81.8%	81.5%	63.8%				79.2%
	知識情報・図書館学類	103	105	118	131		457	103	87	103	113		406	100.0%	82.9%	87.3%	86.3%				88.8%
	グローバル教育学院	9	6	6	6		21	9	4	6			19	100.0%	66.7%	100.0%					90.5%
医学群	医学類	135	140	143	142	132	836	134	126	133	139	129	132	793	99.3%	90.0%	93.0%	97.9%	97.7%	91.7%	94.9%
	看護学類	73	75	82	88		318	73	74	81	82		310	100.0%	98.7%	98.8%	93.2%				97.5%
	医療科学類	37	37	37	47		158	37	37	37	40		151	100.0%	100.0%	100.0%	85.1%				95.6%
体育専門学群	体育専門学類	251	246	247	276		1,020	244	238	240	227		949	97.2%	96.7%	97.2%	82.2%				93.0%
	芸術専門学群	106	109	108	141		464	105	98	78	99		380	99.1%	89.9%	72.2%	70.2%				81.9%
	合計	2,206	2,203	2,368	2,753	132	9,806	2,159	1,906	1,889	1,947	1,29	1,32	8,162	97.9%	86.5%	79.8%	70.7%	97.7%	91.7%	

b) 大学院生

所 属	在籍者数	受診者数	受診率 (%)
教 育	202	169	83.7%
人 文 社 会 科 学	542	311	57.4%
ビ ジ ネ ス 科 学	446	0	0.0%
数 理 物 質 科 学	739	627	84.8%
シ ス テ ム 情 報 工 学	1,329	939	70.7%
生 命 環 境 科 学	1,067	823	77.1%
人 間 総 合 科 学	1,976	1,027	52.0%
図 書 館 情 報 メ デ ィ ア	176	84	47.7%
グ ロ ー バ ル 教 育 院	131	93	71.0%
合 計	6,608	4,073	61.6%

c) 研究生等

	在籍者数	受診者数	受診率 (%)
外 国 人	739	692	93.6%
日 本 人	314	24	7.6%
合 計	1,053	716	68.0%

※ 4 月期, 10 月期入学含む。

ii) 健康診断再検査者

項目	学 群 生				大 学 院 生				研 究 生 等				合 計			
	対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果	
			要 治 療	経 過 観 察												
胸 部 X 線	12	12	0	8	11	11	1	8	8	7	0	7	31	30	1	23
血 圧	5	3	0	1	1	1	0	1	1	1	0	1	7	5	0	3
尿 蛋 白	85	55	0	3	10	6	0	1	4	4	0	0	99	65	0	4
	糖	23	17	1	3	3	3	0	1	1	1	0	0	27	21	1
内 科 所 見	10	9	0	4	16	13	0	9	2	2	0	1	28	24	0	14
心 電 図	48	40	1	23	/	/	/	/	/	/	/	/	48	40	1	23
計	183	136	2	42	41	34	1	20	16	15	0	9	240	185	3	71

項目	学 群 生				大 学 院 生				研 究 生 等				合 計			
	対 象 者 数	受 検 者 数	結 果													
			継 続	終 了												
こころの健康	436	27	13	14	168	24	9	15	11	2	1	1	615	53	23	30

(注) 心電図検査対象者は、学群の新入生及び、体育専門学群生全員である。

(注) 結果：異常なしは、受検者数 - (要治療 + 経過観察) である。

(注) 2019 年度より肥満は健康診断証明書での指導のみとした。

2) 学生特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実施月	対象数	受診数	要再検数	結 果		
				異常なし	要観察	要治療
5月（8日）	128	116	0	81	35	0
5月	218	136	0	91	45	0
7月（10日）	28	25	0	19	6	0
11月（6日）	18	18	0	15	3	0
11月	289	154	1	90	64	0
令和2年 3月（4日）	23	22	0	17	5	0
合 計	704	471	1	313	158	0

（注）実施月のうち5月，11月以外は，新規に放射線作業に従事するために講習を受けた者のみの健康診断である。

ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実施月	対象数	受診数	要再検数	結 果		
				異常なし	要観察	要治療
5月	25	25	0	21	4	0
11月	16	16	0	14	2	0
合 計	41	41	0	35	6	0

iii) 特定化学物質健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実施月	対象数	受診数	要再検数	結 果		
				異常なし	要観察	要治療
5月	26	26	0	20	6	0
11月	17	17	0	13	4	0
合 計	43	43	0	33	10	0

8. 職 員 健 康 診 断

1) 一般健康診断

i) 受診者数及び受診率

(令和元年5月1日在職者，非常勤職員：週20時間以上の勤務者)

事業場	受診者数	対象者数	受診率
大学本部等事業場	2,997	3,232	92.7%
附属病院事業場	2,386	2,414	98.8%
東京キャンパス事業場	127	143	88.8%
附属小学校事業場	44	47	93.6%
附属中学校事業場	30	32	93.8%
附属高等学校事業場	45	46	97.8%
附属駒場中学校・ 附属駒場高等学校事業場	50	50	100%
附属坂戸高等学校事業場	43	51	84.3%
附属視覚特別支援学校事業場	109	112	97.3%
附属聴覚特別支援学校事業場	101	102	99.0%
附属大塚特別支援学校事業場	39	40	97.5%
附属桐が丘特別支援学校事業場	80	81	98.8%
附属久里浜特別支援学校事業場	47	51	92.2%
計	6,098	6,401	95.3%
(平成30年度)	5,870	6,242	94.0%

(令和2年2月3日までの集計結果)

健康診断実施日 筑波地区：令和元年5月28日～6月6日（8日間） 11月5日～11月8日（4日間）
 東京地区：令和元年6月19日～6月21日（3日間） 11月22日（1日間）
 附属坂戸高等学校事業場，附属久里浜養護学校事業場，その他の遠隔地では別日程で実施。人間ドックや他の医療機関等の結果報告を含む。

ii) 項目別有所見者数及び率とその内訳

項目	実施者数	有所見者		要経過観察		要精密検査		要治療		治療継続	
		人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
聴力検査 (1000Hz)	3,677人	71人	1.9%	71人	1.9%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
聴力検査 (4000Hz)	3,659人	96人	2.6%	96人	2.6%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
聴力検査 (会話法)	2,336人	3人	0.1%	3人	0.1%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
胸部エックス線検査	5,905人	188人	3.2%	9人	0.2%	164人	2.8%	0人	0.0%	15人	0.3%
喀痰検査	0人										
血圧検査	6,088人	1,482人	24.3%	1,132人	18.6%	84人	1.4%	11人	0.2%	255人	4.2%
貧血検査	4,409人	961人	21.8%	814人	18.5%	87人	2.0%	43人	1.0%	17人	0.4%
肝機能検査	4,296人	1,033人	24.0%	677人	15.8%	345人	8.0%	3人	0.1%	8人	0.2%
血中脂質検査	4,286人	2,392人	55.8%	1,712人	39.9%	584人	13.6%	1人	0.0%	95人	2.2%
血糖検査	4,271人	878人	20.6%	737人	17.3%	61人	1.4%	10人	0.2%	70人	1.6%
尿検査 (糖)	6,054人	119人	2.0%	20人	0.3%	47人	0.8%	0人	0.0%	52人	0.9%
尿検査 (蛋白)	6,036人	118人	2.0%	104人	1.7%	14人	0.2%	0人	0.0%	0人	0.0%
心電図検査	4,287人	234人	5.5%	16人	0.4%	199人	4.6%	0人	0.0%	19人	0.4%

健康診断実施者中における上記項目全体の総合判定結果の人数と率

要経過観察		要精密検査		要治療		治療継続	
人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
1,885人	30.9%	1,127人	18.5%	69人	1.1%	712人	11.7%

健康診断実施者中における上記項目全体の有所見者数及び率と要指示者数及び率

1つ以上所見のある者の数	有所見率	医療機関受診が必要な者の数	要指示率
3,793人	62.2%	1,196人	19.6%

iii) 労働安全衛生規則第13条第1項第2号の業務（特定業務）の従事者

業務	高熱	低温	放射線	粉じん	異常気圧	振動	重量物
人数	2人	2人	170人	0人	7人	0人	44人
業務	騒音	坑内	深夜	酸・アルカリ	有害物ガス	病原体汚染	その他
人数	3人	0人	609人	9人	4人	116人	0人

iv) 胃造影検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要再検数
筑波地区	3,359	31	0.9%	3
東京地区	509	12	2.4%	1
合 計	3,868	43	1.1%	4

(注) 対象は、H30年度から40才以上の常勤職員及び週20時間以上勤務の非常勤職員の希望者とした。

2) 特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実施月	対象数	受診数	要再検数	結 果		
				異常なし	要観察	要治療
5月（8日）	9	9	0	6	3	0
5月	469	456	0	315	129	0
7月（10日）	2	2	0	1	1	0
11月（6日）	5	5	0	4	1	0
11月	459	411	0	150	68	0
令和2年 3月（4日）	6	6	0	5	1	0
合 計	950	889	0	481	203	0

（注）実施月のうち5月，11月以外は、新規に放射線作業に従事するために講習を受けた者のみの健康診断である。

ii) 有機溶剤健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実施月	対象数	受診数	要再検数	結 果		
				異常なし	要観察	要治療
5月	35	35	0	31	4	0
11月	35	28	0	23	5	0
合 計	70	63	0	54	9	0

iii) 特定化学物質健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実施月	対象数	受診数	要再検数	結 果		
				異常なし	要観察	要治療
5月	24	24	0	14	10	0
11月	22	16	0	8	8	0
合 計	46	40	0	22	18	0

3) 特定健康診査（メタボリックシンドローム健康診断）

対象	対象者数	受診者数 (受診率)	危険度0 (該当率)	危険度1 (該当率)	危険度2 (該当率)	危険度3 (該当率)	危険度4 (該当率)	判定不能 (該当率)	
男	常勤	1,976人	1,732人 (87.7%)	870人 (50.2%)	190人 (11.0%)	345人 (19.9%)	240人 (13.9%)	81人 (4.7%)	6人 (0.3%)
	非常勤	156人	151人 (96.8%)	81人 (53.6%)	7人 (4.6%)	18人 (11.9%)	32人 (21.2%)	13人 (8.6%)	0人 (0.0%)
	小計	2,132人	1,883人 (88.3%)	951人 (50.5%)	197人 (10.5%)	363人 (19.3%)	272人 (14.4%)	94人 (5.0%)	6人 (0.3%)
女	常勤	1,210人	1,087人 (89.8%)	922人 (84.8%)	59人 (5.4%)	67人 (6.2%)	26人 (2.4%)	9人 (0.8%)	4人 (0.4%)
	非常勤	514人	483人 (94.0%)	420人 (87.0%)	20人 (4.1%)	20人 (4.1%)	18人 (3.7%)	5人 (1.0%)	0人 (0.0%)
	小計	1,724人	1,570人 (91.1%)	1,342人 (85.5%)	79人 (5.0%)	87人 (5.5%)	44人 (2.8%)	14人 (0.9%)	4人 (0.3%)
計	3,856人	3,453人 (89.5%)	2,293人 (66.4%)	276人 (8.0%)	450人 (13.0%)	316人 (9.2%)	108人 (3.1%)	10人 (0.3%)	
治療薬服用者 (既治療率)			185人 (8.1%)		105人 (23.3%)	88人 (27.8%)	35人 (32.4%)	1人 (10.0%)	

(注) 40歳以上職員を対象とする。

●診断基準

1. 腹囲 男性85cm以上 女性90cm以上

+

2. 血糖：空腹時血糖が110mg/dl以上 または ヘモグロビンA1c値が6.0%以上
 または 糖尿病で薬剤治療中
 3. 血圧：収縮期血圧が130mmHg以上 または 拡張期血圧が85mmHg以上
 または 高血圧で薬剤治療中
 4. 脂質：中性脂肪値が150mg/dl以上 または HDLコレステロール値が40mg/dl未満
 または 脂質異常症で薬剤治療中

●判定基準

危険度0（メタボリックシンドローム基準非該当）：全項目該当なし
 危険度1（メタボリックシンドローム基準非該当）：腹囲のみ該当
 危険度2（メタボリックシンドローム予備群該当）：腹囲+1項目に該当
 危険度3（メタボリックシンドローム基準該当）：腹囲+2項目に該当
 危険度4（メタボリックシンドローム基準該当）：全項目に該当
 判定不能：未実施項目があり判定できない

4) その他

i) 便潜血反応検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要精密数
筑波地区	2,720	158	5.8%	8
東京地区	466	31	6.7%	3
合 計	3,186	189	5.9%	11

(注) 対象は40才以上の常勤職員の希望者。

免疫学的便潜血反応検査（ラテックス凝縮法）を用いた。

ii) P S A検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要再検数
筑波地区	926	432	46.7%	0
東京地区	158	64	40.5%	0
合 計	1,084	496	45.8%	0

(注) 対象は、S40.4.1以前生まれの常勤男性職員の希望者。

9. 保健管理センター利用状況

1) 健康相談月別利用状況

i) 学生内科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	28	126	110	92	34	37	90	136	110	73	43	31	910
大 学 院 生	23	70	61	69	33	32	50	85	71	68	48	58	668
研 究 生 等	6	15	8	7	4	5	15	22	16	14	15	10	137
合 計	57	211	179	168	71	74	155	243	197	155	106	99	1,715

ii) 学生整形外科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	27	55	55	60	37	27	61	35	50	45	29	45	526
大 学 院 生	3	7	12	12	5	13	15	15	14	11	14	8	129
研 究 生 等	1	4	2	3	2	2	0	3	7	3	3	3	33
合 計	31	66	69	75	44	42	76	53	71	59	46	56	688

iii) 学生外科処置受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	8	28	10	7	3	1	9	7	5	1	5		84
大 学 院 生	2	6	6	2	7	2	6	3	7	3	8		52
研 究 生 等	3	0	0	0	0	1	3	1	1	0		1	10
合 計	13	34	16	9	10	4	18	11	13	4	13	1	146

(注) 学生外科処置受診数とは、看護師が処置した件数である。

iv) 学生歯科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	4	26	16	19	21	20	30	14	11	11	15	29	216
大 学 院 生	12	17	26	41	26	26	27	24	28	28	25	25	305
研 究 生 等		6	8	3		1	5	4	8	3	7	2	47
合 計	16	49	50	63	47	47	62	42	47	42	47	56	568

(注) 歯科衛生士による指導・処置を含む。

v) 学生精神科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	88	116	113	130	81	68	117	101	135	134	106	127	1,316
大 学 院 生	55	70	74	103	74	55	83	73	89	79	71	100	926
研 究 生 等	7	4	4	5	4	6	5	5	7	8	7	5	67
合 計	150	190	191	238	159	129	205	179	231	221	184	232	2,309

vi) 職員・その他

区分/ 科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本学職員	9	14	17	26	14	20	23	135	59	25	12	4	358
その他の外来者	5	1	2	2			2				1		13
合計	14	15	19	28	14	20	25	135	59	25	13	4	371

内科	5	12	11	22	7	11	13	132	47	14	8		282
整形外科	2	1	2	3	4	6	6	2	9	6			41
歯科		1	3		3	2	4	1	1	3	4	4	26
精神科	5			2			1						8
外科処置	2	1	3	1		1	1	0	2	2	1		14

(注) その他の外来者とは、本学校内における公開講座、合宿の参加者、見学者などである。

2) 診療収入等

科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(円)
内 科	58,500	165,900	148,300	150,200	76,400	84,500	175,400	159,100	134,800	191,600	143,000	130,900	1,618,600
整 形 外 科	36,800	77,500	77,900	91,200	51,300	53,700	97,800	61,400	85,800	74,800	55,500	64,400	828,100
歯 科	12,700	46,700	41,900	44,600	42,900	41,800	52,200	34,100	41,300	37,900	38,000	46,200	480,300
精 神 科	276,000	339,500	340,500	412,500	294,500	237,000	390,000	321,000	423,000	409,000	352,000	433,000	4,228,000
そ の 他	2,500	500	2,000	0	4,000	5,500	4,500	524,000	228,000	2,000	6,000	10,000	789,000
合 計 (円)	386,500	630,100	610,600	698,500	469,100	422,500	719,900	1,099,600	912,900	715,300	594,500	684,500	7,944,000

(注) 診療収入等には、診療費、薬剤費、診断書等が含まれる。

(注) その他には、診察外の診断書、予防接種等が含まれる。

(参考:前年度(2019.1～3月)有償化開始以降の診療収入等)

科別内訳	1月	2月	3月	合計(円)
内 科	128,400	72,900	67,900	269,200
整 形 外 科	45,800	52,800	47,700	146,300
歯 科	52,500	43,300	40,800	136,600
精 神 科	527,500	445,500	505,500	1,478,500
そ の 他	0	500	2,000	2,500
合 計 (円)	754,200	615,000	663,900	2,033,100

10. そ の 他

1) インフルエンザワクチン接種

対 象	接 種 数
学 生	157
職 員	141
計	298

2) HBs抗原抗体検査

対 象	HBs抗原検査	HBs抗体検査
理療科教員養成施設学生	48	48
職 員	27	27
計	75	75

注：HBs抗原抗体検査は、理療科教員養成施設所属の職員と学生（新入生）が対象である。

3) 臨床検査実施数

月	血液	尿	心電図	超音波検査	その他	合計
4月		63	5	1	1	70
5月	5	44	9	1	1	60
6月	1	11	26		1	39
7月	5	10	31	3	5	54
8月	5	4	1	2		12
9月	2	8	7	3	4	24
10月	7	21	9	2	3	42
11月	7	6	10	1	3	27
12月	2	8	5			15
1月	10	19	13	3	12	57
2月	7	20	10	2	12	51
3月	9	14	13		11	47
合計	60	228	139	18	53	498

4) エックス線写真撮影件数及び枚数

区分	学 生						職 員						合 計	
	一般撮影		デンタル		計		胸 部 その他		デンタル		計			
月	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数
4	33	1	3	3	36	4	2	0	0	0	2	0	38	4
5	82	2	18	32	100	34	3	0	0	0	3	0	103	34
6	66	0	7	10	73	10	2	0	1	3	3	3	76	13
7	68	1	7	8	75	9	10	0	0	0	10	0	85	9
8	37	2	7	12	44	14	3	0	0	0	3	0	47	14
9	40	3	9	10	49	13	4	0	0	0	4	0	53	13
10	86	6	8	13	94	19	5	0	1	2	6	2	100	21
11	59	0	0	0	59	0	2	0	1	1	3	1	62	1
12	69	2	7	13	76	15	7	0	0	0	7	0	83	15
1	82	3	9	14	91	17	4	0	0	0	4	0	95	17
2	68	0	3	4	71	4	2	0	0	0	2	0	73	4
3	67	3	9	10	76	13	2	0	2	4	4	4	80	17
合計	757	23	87	129	844	152	46	0	5	10	51	10	895	162
学生定期健康診断撮影 11,454 名														
職員定期健康診断撮影 5,997 名														

5) 処方箋発行数

	発行数
平成31年4月	184
令和元年5月	324
6月	315
7月	349
8月	207
9月	202
10月	352
11月	291
12月	332
令和2年1月	329
2月	244
3月	271
合計	3,400

6) 外部診療機関紹介状況

区分 \ 科分類	内科	整形外科	歯科	救急外来	その他	合計
学 群 生	55	32	2	9	57	155
大 学 院 生	43	6	1	4	41	95
研 究 生	12	1	0	0	5	18
学 生 合 計	110	39	3	13	103	268
職 員・そ の 他	16	2	1	0	11	30
合 計	126	41	4	13	114	298

注) 区分のその他とは、本学校内における公開講座、合宿の参加者、見学者などである。

7) 健康診断証明書等発行数

	センター発行	自動証明書発行 装置発行	合計
学 群 生	602	4,429	5,031
大 学 院 生	123	3,935	4,058
研 究 生	12		12
職 員	25		25
そ の 他	1		1
合 計	763	8,364	9,127

自動証明発行装置は、学生定型書式のみ。
その他は、学振・特別研究員等である。

8) 救護活動

No.	実施期間	日数	行事等名称	救護班設置場所	利用者数
1	平成31年 4月8日		入学式	保健管理センター	1
2	4月9日	1	英語プレイスメントテスト	保健管理センター	0
3	令和元年 5月11日～12日	2	春季スポーツデー	保健管理センター	4
4	7月5日	1	大学院博士課程入試（7月期）	保健管理センター	0
5	7月13日～14日	2	学群編入学試験 帰国生徒特別 入試（10月入学）	保健管理センター	0
6	7月9日～11日		体育専門学群 臨海実習 （医療材料貸出）	千葉県館山市（保健管理 センターからの人員派遣 はなし）	1
7	7月24日	1	太子町オープンキャンパス	保健管理センター	0
8	8月3日、4日、 10日	3	大学説明会	保健管理センターおよび 春日キャンパス救護室	3
9	8月19日～30日	10	関東甲信越大学体育大会	保健管理センター	0
10	8月20日～27日	7	大学院入学試験（8月期）	保健管理センター	0
11	8月27日～28日	2	ヒューマンバイオロジー学位プ ログラム（HBP）8月期入試	保健管理センター	0
12	10月1日～15日	10	H31年度 学群AC入試・国際 科学オリンピック特別入試・国 際バカロレア特別入試	保健管理センター	0
13	10月16日～25日	7	大学院入学試験（10月期）	保健管理センター	0
14	11月2日～4日	3	学園祭	保健管理センター	0
15	11月16日～17日	2	秋季スポーツデー	保健管理センター	3
16	11月28日～29日	2	推薦入試	保健管理センターおよび 体芸救護室	2
17	令和2年 1月14日～16日	3	ヒューマンバイオロジー学位プ ログラム（HBP）ヒューマニク ス学位プログラム 1月期入試	保健管理センター	0
18	1月18日～19日	2	大学入試センター試験	保健管理センターおよび 各入試会場救護室	20
19	1月26日	1	大学入試センター追試験	第3試験場	0
20	1月29日～2月3日	4	大学院入試（2月期）	保健管理センター	0
21	1月30日	1	エンパワーメント情報学プログ ラム 2月期一般入試・履修者 特別選抜	保健管理センター	0
22	2月25日～26日	2	個別学力検査等（前期日程）・ 学群編入学試験	保健管理センターおよび 各入試会場救護室	5
23	3月12日	1	個別学力検査等（後期日程）	保健管理センター	1
24	3月25日	1	卒業式	保健管理センター	中止
計		68			40

9) 救急箱貸出数

	貸 出 数
平成31年4月	1
令和元年5月	18
6月	0
7月	3
8月	1
9月	0
10月	0
11月	5
12月	0
令和2年1月	9
2月	7
3月	2
合 計	46

10) 医療安全教育研修

第1回 診療の安全に関する研修【医療事故防止マニュアル第8版を使いこなそう】

感染・医薬品・医療機器に関する研修

1. 対象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 令和元年12月（DVD上映複数開催）
3. 場 所 保健管理センター会議室及びmanaba
4. 参加人数 23名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容
 - ・医療事故防止に関する基本的事項
 - ・接触感染予防策
 - ・周術期における抗菌薬の適正使用について
 - ・毒薬の管理と取扱いについて
 - ・医療機器・医療ガスの安全使用

第2回 診療の安全に関する研修

1. 対象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 令和元年3月1日～平成31年1月31日
3. 場 所 学内専用システム manaba
4. 参加人数 23名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容
 - ・医療事故防止に関する基本的事項
 - ・手指衛生と正しいマスク着用
 - ・抗菌薬の供給不足と適性使用について他
 - ・生命維持管理装置に付属する医療材料の使用前研修 のお願い
 - ・個人情報管理の徹底について

11. 研究業績

<原著論文>

1. Fujii K, Abe T, Koda M, Funayama T, Noguchi H, Miura K, Kumagai H, Na-gashima K, Mataki K, Shibao Y, Yamazaki M: Cauda equina schwannoma with concomitant intervertebral disc herniation: A case report and review of liter-ature. *J Clin Neurosci.* 62: 229-231, 2019.
2. Funayama T, Noguchi H, Mataki K, Yamazaki M: A novel unidirectional porous β -tricalcium phosphate grafting impregnated with bone marrow blood col-lected from unfractured vertebral bodies for non-union of osteoporotic verte-bral fracture: a preliminary case report. *J Orthop Case Rep.* 9: 50-53, 2019.
3. Funayama T, Tsukanishi T, Kumagai H, Noguchi H, Izawa S, Abe T, Miura K, Nagashima K, Mataki K, Shibao Y, Sato K, Koda M, Yamazaki M: A novel unidirectional porous β -tricalcium phosphate grafting for vertebral fracture in the elderly: preliminary case series. *J Rural Med.* 14: 211-215, 2019.
4. Koda M, Hara Y, Okano E, Abe T, Funayama T, Noguchi H, Miura K, Nagashima K, Kumagai H, Mataki K, Yamazaki M: C5 pure motor spinal cord injury: A case with a rare manifestation of cervical spinal cord injury. *J Clin Neurosci.* 59: 332-334, 2019.
5. Kono M, Koda M, Abe T, Miura K, Nagashima K, Fujii K, Kumagai H, Noguchi H, Funayama T, Yamazaki M: Percutaneous endoscopic discectomy might be effective in selected cases of pyogenic spondylitis. *J Orthop Surg (Hong Kong)* . 27 (3) , 2309499019885446, 2019.
6. Kono M, Koda M, Abe T, Miura K, Nagashima K, Fujii K, Kumagai H, Noguchi H, Funayama T, Furuya T, Yamazaki M: Positive-pressure ventilation attenu-ates subarachnoid-pleural fistula after thoracic spinal surgery: A report of two cases. *J Orthop Surg (Hong Kong)* . 27 (3) : 2309499019865470, 2019.
7. Kubota S, Abe T, Kadone H, Shimizu Y, Funayama T, Watanabe H, Marushima A, Koda M, Hada Y, Sankai Y, Yamazaki M: Hybrid assistive limb (HAL) treatment for patients with severe thoracic myelopathy due to ossification of the posterior longitudinal ligament (OPLL) in the postoperative acute/subacute phase: A clinical trial. *J Spinal Cord Med.* 42: 517-525, 2019.
8. Kumagai H, Abe T, Koda M, Nagashima K, Miura K, Mataki K, Fujii K, Noguchi H, Funayama T, Yamazaki M: Unidirectional porous beta-tricalcium phosphate induces bony fusion in lateral lumbar interbody fusion. *J Clin Neurosci.* 59: 232-235, 2019.
9. Kumagai H, Funayama T, Sugaya H, Yoshioka T, Makihara T, Tomaru Y, Arai N, Sato K, Miura K, Noguchi H, Abe T, Koda M, Mishima H, Yamazaki M: Effects of teriparatide on bone formation in novel unidirectional porous beta-tricalcium phosphate. *J Biomater Appl.* 34: 721-727, 2019.
10. Kumagai H, Iwasashi M, Funayama T, Nakamura S, Noguchi H, Koda M, Yamazaki M: Surgical repair of acetabular fracture using unidirectional porous β -Tricalcium phosphate. *Case Rep Orthop* 6860591, 2019.
11. Kumagai H, Makihara T, Funayama T, Sato K, Noguchi H, Abe T, Koda M, Yamazaki M: Angiogenesis and new bone formation in novel unidirectional porous beta-tricalcium phosphate: a histological study. *J Artif Organs.* 22: 294-299, 2019.
12. Mataki K, Koda M, Miura K, Shibao Y, Kumagai H, Nagashima K, Noguchi H, Funayama T, Abe T,

- Yamazaki M: Dynamic digital tomosynthesis-radiculography is useful for diagnosis of lumbar foraminal stenosis at an adjacent level after lumbar fusion surgery: A case report. *J Clin Neurosci.* 65: 148-150, 2019.
13. Mataki K, Koda M, Shibao Y, Kumagai H, Nagashima K, Miura K, Noguchi H, Funayama T, Abe T, Yamazaki M: Successful visualization of dynamic change of lumbar nerve root compression with the patient in both upright and prone positions using dynamic digital tomosynthesis-radiculography in patients with lumbar foraminal stenosis: An initial report of three cases. *J Clin Neurosci.* 62: 256-259, 2019.
 14. Miura K, Koda M, Tatsumura M, Shiina I, Mammoto T, Hirano A, Abe T, Funayama T, Noguchi H, Yamazaki M: Charcot spinal arthropathy presenting as adjacent segment disease after lumbar spinal fusion surgery in Parkinson's disease: A case report. *J Clin Neurosci.* 61: 281-284, 2019.
 15. Nagashima K, Koda M, Abe T, Kumagai H, Miura K, Fujii K, Noguchi H, Funayama T, Miyamoto T, Mannoji C, Furuya T, Yamazaki M: Implant failure of pedicle screws in long-segment posterior cervical fusion is likely to occur at C7 and is avoidable by concomitant C6 or T1 buttress pedicle screws. *J Clin Neurosci.* 63: 106-109, 2019.
 16. Noguchi H, Funayama T, Koda M, Iijima Y, Kumagai H, Ishikawa T, Aiba A, Abe T, Nagashima K, Miura K, Izawa S, Maki S, Furuya T, Yamazaki M: A unidirectional porous beta-tricalcium phosphate material (Affinos®) for reconstruction of bony defects after excision of fibular bone for spinal surgery graft. *J Clin Neurosci.* 66: 71-76, 2019.
 17. Noguchi H, Koda M, Funayama T, Kumagai H, Abe T, Nagashima K, Miura K, Mataki K, Fujii K, Yamazaki M: Bone bonding, displacement, and absorption in cases of double-door laminoplasty with unidirectional porous hydroxyapatite spacers. *J Clin Neurosci.* 62: 46-52, 2019.
 18. Sato Y, Yamada T, Hiroshima T, Sudo K, Hasegawa N, Hyodo I, Nakamura Y: A robust culture method for maintaining tumorigenic cancer stem cells in the hepatocellular carcinoma cell line Li-7. *Cancer Sci.* 110(5): 1644-1652, 2019.
 19. Fukuda K, Mori K, Hasegawa N, Nasu K, Ishige K, Okamoto Y, Shiigai M, Abei M, Minami M, Hyodo I: Safety margin of radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma: a prospective study using magnetic resonance imaging with superparamagnetic iron oxide. *Jpn J Radiol.* 37(7): 555-563, 2019.
 20. Takahashi H, Mori K, Sekino Y, Okumura T, Hiyama T, Fukuda K, Hasegawa N, Sakai M, Kikuchi S, Takei Y, Iizumi T, Sakurai H, Minami M: Angiographic Findings in Patients with Hepatocellular Carcinoma Previously Treated Using Proton Beam Therapy. *J Oncol.* 4: 3580379, 2019.
 21. Shimizu S, Okumura T, Oshiro Y, Fukumitsu N, Fukuda K, Ishige K, Hasegawa N, Numajiri H, Murofushi K, Ohnishi K, Mizumoto M, Nonaka T, Ishikawa H, Sakurai H: Clinical outcomes of previously untreated patients with unresectable intrahepatic cholangiocarcinoma following proton beam therapy. *Radiat Oncol.* 14(1): 241, 2019.
 22. Sone D, Sato N, Ota M, Kimura Y, Matsuda H: Widely Impaired White Matter Integrity and Altered Structural Brain Networks in Psychogenic Non-Epileptic Seizures. *Neuropsychiatr Dis Treat.* 15: 3549-

- 3555, 2019.
23. Sone D, Maikusa N, Sato N, Kimura Y, Ota M, Matsuda H: Similar and Differing Distributions Between 18F-FDG-PET and Arterial Spin Labeling Imaging in Temporal Lobe Epilepsy. *Front Neurol.* 10: 318, 2019.
 24. Hidese S, Ogawa S, Ota M, Ishida I, Yasukawa Z, Ozeki M, Kunugi H: Effects of L-Theanine Administration on Stress-Related Symptoms and Cognitive Functions in Healthy Adults: A Randomized Controlled Trial. *Nutrients.* 11(10): 2362, 2019.
 25. Tsuchimine S, Hattori K, Ota M, Hidese S, Teraishi T, Sasayama D, Hori H, Noda T, Yoshida S, Yoshida F, Kunugi H: Reduced plasma orexin-A levels in patients with bipolar disorder. *Neuropsychiatr Dis Treat.* 15: 2221-2230, 2019.
 26. Ota M, Sato N, Yoshida F, Hattori K, Hidese S, Teraishi T, Kunugi H: A polymorphism of the methylenetetrahydrofolate reductase gene confers susceptibility to schizophrenia and related brain changes. *Schizophr Res.* 208: 462-464, 2019.
 27. Ota M, Matsuo J, Ishida I, Takano H, Yokoi Y, Hori H, Yoshida S, Ashida K, Nakamura K, Takahashi T, Kunugi H: Effects of a medium-chain triglyceride-based ketogenic formula on cognitive function in patients with mild-to-moderate Alzheimer's disease. *Neurosci Lett.* 690: 232-236, 2019.
 28. Sone D, Beheshti I, Maikusa N, Ota M, Kimura Y, Sato N, Koepp M, Matsuda H: Neuroimaging-based Brain-Age Prediction in Diverse Forms of Epilepsy: A Signature of Psychosis and Beyond. *Molecular psychiatry.* 2019. PMID: 31160692. doi: 10.1038/s41380-019-0446-9.
 29. Shigemoto Y, Sone D, Ota M, Maikusa N, Ogawa M, Okita K, Takano H, Kato K, Kimura Y, Morimoto E, Suzuki F, Fujii H, Sato N, Matsuda H: Voxel-based correlation of 18F-THK5351 accumulation and gray matter volume in the brain of cognitively normal older adults. *EJNMMI Res.* 9(1): 81, 2019.
 30. Sato S, Kawanishi Y, Ide M, Sodeyama N, Takei H: Mutism in an adult case with autism spectrum disorder improved by aripiprazole. *Clin Neuropsychopharmacol Ther.* 10: 26-28, 2019.
 31. Ota M, Nemoto K, Ishida I, Sato S, Asada T, Arai T, Kunugi H: Structural brain network correlated with the resilience to traumatic events in the healthy participants: An MRI study on healthy people in a stricken area of the Great East Japan Earthquake. *Psychol Trauma.* Oct 17, 2019. doi: 10.1037/tra0000517.
 32. Kanazawa J, Kitazawa H, Masuko H, Yatagai Y, Sakamoto T, Kaneko Y, Iijima H, Naito T, Saito T, Noguchi E, Konno S, Nishimura M, Hirota T, Tamari M, Hizawa N: A cis-eQTL allele regulating reduced expression of CHI3L1 is associated with late-onset adult asthma in Japanese cohorts. *BMC Med Genet.* 20(1): 58, 2019.
 33. Aida Y, Nakazawa K, Shiozawa T, Ogawa R, Kiwamoto T, Morishima Y, Sakamoto T, Sekine I, Hizawa N: Small-Cell Lung Cancer Treatment of Newly Diagnosed Patients with Poor Performance Status. *Case Rep Oncol.* 12(2): 613-620, 2019.
 34. Mochizuki F, Iijima H, Watanabe A, Tanabe N, Sato S, Shiigai M, Fujiwara K, Shimada T, Ishikawa H, Kanazawa J, Yatagai Y, Masuko H, Sakamoto T, Muro S, Hizawa N: The Concavity of the Maximal Expiratory Flow-Volume Curve Reflects the Extent of Emphysema in Obstructive Lung Diseases. *Sci*

- Rep. 9(1): 13159, 2019.
35. Midorikawa H, Tachikawa H, Nemoto K, Morita N, Shiratori Y, Endo G, Taguchi T, Arai T: Mental health of gatekeepers may influence their own attitudes toward suicide: A questionnaire survey from a suicide-prevention gatekeeper training program. *Asian J Psychiatr.* 47: 101842, 2020.
 36. Sato S, Sodeyama N, Matsuzaki A, Shiratori Y: Apathy symptoms induced by low-dose venlafaxine: Two cases. *Neuropsychopharmacology reports.* 40(2): 196-197, 2020.
 37. Takahashi H, Sekino Y, Mori K, Okumura T, Nasu K, Fukuda K, Masuoka S, Iizumi T, Hasegawa N, Sakurai H, Minami M: Indicator for local recurrence of hepatocellular carcinoma after proton beam therapy: analysis of attenuation difference between the irradiated tumor and liver parenchyma on contrast enhancement CT. *Br J Radiol.* 93(1105): 20190375, 2020.
 38. Ogawa S, Hattori K, Ota M, Hidese S, Miyakawa T, Matsumura R, Yokota Y, Ishida I, Matsuo J, Yoshida S, Yamazaki Y, Goodenowe D, Kunugi H: Altered ethanalamine plasmalogen and phosphatidylethanolamine levels in blood plasma of patients with bipolar disorder. *Psychiatry Clin Neurosci.* 74(3): 204-210, 2020.
 39. Suzuki F, Sato N, Ota M, Sugiyama A, Shigemoto Y, Morimoto E, Kimura Y, Wakasugi N, Takahashi Y, Futamura A, Kawamura M, Ono K, Nakamura M, Sano A, Watanabe M, Matsuda H, Abe O: Discriminating chorea-acanthocytosis from Huntington's disease with single-case voxel-based morphometry analysis. *J Neurol Sci.* 408: 116545, 2020.
 40. Yamada H, Hida N, Masuko H, Sakamoto T, Hizawa N: Effects of Lung Function-Related Genes and TSLP on COPD Phenotypes. *COPD.* 17(1): 59-64, 2020.
 41. 安部哲哉, 久保田茂希, 藤井賢吾, 三浦紘世, 清水如代, 門根秀樹, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 熊谷洋, 長島克弥, 野口裕史, 船山 徹, 羽田康司, 國府田正雄, 山崎正志: 重度脊髄障害を呈した胸椎後縦靭帯骨化症に対する手術とHAL®併用療法. *J.Spine Res.* 10: 1257-1261, 2019.
 42. 安部哲哉, 長島克弥, 國府田正雄, 三浦紘世, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 熊谷 洋, 松井彩乃, 野口裕史, 船山 徹, 山崎正志: 「第3の」中下位頸椎スクリュー刺入法: 椎孔周囲スクリューを併用した頭蓋/頸椎後方固定術の臨床成績. *J.Spine Res.* 10: 1432-1436, 2019.
 43. 船山 徹, 辰村正紀, 藤井賢吾, 山崎正志: 新鮮骨粗鬆症性椎体骨折に対する最適な初期治療法確立に向けた研究. *The Journal of Japan Osteoporosis Society.* 5: 478-480, 2019.
 44. 船山 徹, 安部哲哉, 柴尾洋介, 藤井賢吾, 伊澤成郎, 熊谷 洋, 野口裕史, 三浦紘世, 長島克弥, 俣木健太郎, 國府田正雄, 山崎正志: 予後不良MRI所見を有する骨粗鬆症性椎体骨折において初期の入院安静による厳密な保存治療にも抵抗した症例の特徴. *日骨粗鬆症会誌 (JJOS)* 5: 135-139, 2019.
 45. 山浦正道, 福田邦明, 森 健作, 廣瀬 優, 佐藤雅志, 遠藤壮登, 山田武史, 長谷川直之, 石毛和紀, 兵頭一之介, 溝上裕士: 仮性動脈瘤胆道穿破の2症例. *胆道* 33(4): 768-776, 2019.

<総説>

1. 安部哲哉, 長島克弥, 國府田正雄, 柴尾洋介, 天野国明, 船山 徹, 山崎正志: 骨粗鬆症性椎体骨折の保存的治療成績－ステロイド性骨粗鬆症を含めて－. *別冊整形外科No.76:* 145-149, 2019.

2. 安部哲哉, 船山 徹, 三浦紘世, 野口裕史, 國府田正雄, 山崎正志:【特集:透析関連の整形外科疾患-病態と治療-】透析患者の化膿性脊椎炎の病態と治療. 関節外科. 38: pp518-523, 2019.
3. 國府田正雄, 安部哲哉, 船山 徹, 三浦紘世, 長島克弥, 俣木健太郎, 柴尾洋介, 久保田茂希, 山崎正志:【特集:整形外科疾患のリハビリテーション最前線】脊髄障害に対するロボットスーツ HALを用いたリハビリテーション. Journal of Clinical Rehabilitation. 28: pp607-612, 2019.
4. 國府田正雄, 安部哲哉, 船山 徹, 野口裕史, 三浦紘世, 長島克弥, 俣木健太郎, 柴尾洋介, 山崎正志:【特集:頸椎前方手術Up To Date 2】重度頸椎後彎に対する前後合併手術による矯正固定. 脊椎脊髄. 32: pp757-761, 2019.
5. 柴尾洋介, 安部哲哉, 長島克弥, 船山 徹, 竹内陽介, 國府田正雄, 山崎正志:【特集:姿勢異常と疼痛】骨粗鬆症性椎体骨折に対する入院安静治療. 関節外科. 38: pp1282-1291, 2019.
6. 船山 徹, 塚本 学:研究奨励賞受賞者プレゼンテーション. 日骨粗鬆症会誌 (JJOS). 5: pp205-206, 2019.
7. 三浦紘世, 門根秀樹, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志:【成人脊柱変形に対する三次元歩行動作解析を用いた全脊柱アライメントの動的評価】オルソタイムズ. 13(1): pp2, 2019.

<著書>

1. 坂本 透:胸部X線異常. EXPERT 膠原病・リウマチ 改定第4版(住田孝之編). 診断と治療社(東京). pp136-140, 4月, 2019.
2. 船山 徹:胸椎・胸腰椎後方除圧術. 脊椎手術合併症回避のポイント(山崎正志編). メジカルビュー社(東京). pp121-127, 5月, 2019.
3. 船山 徹:胸椎・胸腰椎後方除圧固定術. 脊椎手術合併症回避のポイント(山崎正志編). メジカルビュー社(東京). pp128-135, 5月, 2019.
4. 船山 徹:骨粗鬆症性椎体骨折に対するBKP手術. 脊椎手術合併症回避のポイント(山崎正志編). メジカルビュー社(東京). pp136-143, 5月, 2019.
5. 坂本 透, 檜澤伸之:COPDの病態 発症と遺伝因子, 環境因子. COPD(金子 猛, 三嶋理晃編). 中山書店(東京). pp32-38, 9月, 2019.
6. 船山 徹, 山崎正志:骨粗鬆症患者に対する椎体形成術. 骨粗鬆症患者に対する手術と成功の秘訣 第1版(須藤啓広編). メジカルビュー社(東京). pp55-62, 10月, 2019.

<学会発表>

1. Fujii K, Koda M, Saito J, Abe T, Funayama T, Noguchi N, Miura K, Nagashima K, Mataka K, Shibao Y, Furuya T, Yamazaki M: Segmental instrumented fusion with laminoplasty for cervical OPLL with K-line (+) / large segmental motion - retro-spective analysis compared with laminoplasty without segmental fusion. 35th Annual Meeting of the Cervical Spine Research Society European Section (Rome, Italy), May 2019.
2. G-SPIRIT study group, Koda M, Matsumoto Y, Abe T, Funayama T, Miura K, Nagashima K, Mataka K,

- Shibao Y, Yamazaki M, Furuya T, Maki S, Ijima Y, Saito J, Kitamura M, Miyamoto T, Ohtori S, Hanaoka H: Randomized, placebo-controlled, double-blinded trial of granulocyte colony stimulating factor-mediated neuroprotection for acute spinal cord injury. The 35th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society European Section (Rome, Italy), May 2019.
3. Kitazawa H, Masuko H, Kanazawa J, Shigemasa R, Hyodo K, Yatagai Y, Iijima H, Naito T, Saito T, Hirota T, Tamari M, Sakamoto T, Hizawa N: Genetic effects of OR-MDL3/GSDMB on asthma are modified by the GSDMC genotype at chromosome 8. American Thoracic Society Conference 2019 (Dallas, TX, USA), May 2019.
 4. Shigemasa R, Kanazawa J, Kitazawa H, Masuko H, Hyodo K, Yatagai Y, Sakamoto T, Kaneko Y, Iijima H, Naito T, Saito T, Noguchi E, Konno S, Nishimura M, Hirota T, Tamari M, Hizawa N: A cis-eQTL allele lowering gene expression of CHL3L1 is associated with late-onset adult asthma in Japanese. American Thoracic Society Conference 2019 (Dallas, TX, USA), May 2019.
 5. Koda M, Abe T, Funayama T, Miura K, Nagashima K, Mataka K, Shibao Y, Kubota S, Yamazaki M: Protocol for a prospective, one-armed, nonrandomized, un-blinded, safety and feasibility study of exercise therapy using the hybrid assistive limb (HAL®) lumbar type for non-specific low back pain. 46th annual meeting of International Study society for lumbar spine (Kyoto, Japan), June 2019.
 6. Miura K, Kadone H, Shibao Y, Kumagai H, Nagashima K, Maraki K, Noguchi H, Funayama T, Abe T, Koda M, Yamazaki M: Thoracic kyphosis and pelvic anteversion increases during walking in patients with adult spinal deformity: analyses of dynamic alignment change with three-dimensional gait motion analysis system. 46th the International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting (Kyoto, Japan), June 2019.
 7. Koda M, Abe T, Funayama T, Noguchi H, Miura K, Nagashima K, Mataka K, Shibao Y, Yamazaki M: Total uncinectomy for cervical spondylotic radiculopathy. 第26回日本脊椎・神経手術手技学会(大阪), 9月, 2019.
 8. Takahashi A, Shiratori Y, Matsuzaki A, Takayashiki A, Maeno T, Tachikawa T: Is there any difference in efficacy to conduct suicide prevention education program for Japanese University Students before or after summer vacation? TSUKUBA Conference 2019 (Tsukuba), October 2019.
 9. Abe T, Kubota S, Kadone H, Shimizu Y, Miura K, Funayama T, Koda M, Yamazaki M: Gait training with voluntary driven robotic device in the postoperative acute/subacute phase improves severe myelopathy due to ossification of the posterior longitudinal ligament in the thoracic spine. The 41st Annual Meeting of the Royal College of Orthopaedic Surgeons of Thailand (Pattaya, Thailand), October 2019.
 10. Funayama T, Abe T, Shibao Y, Fujii K, Noguchi H, Miura K, Nagashima K, Mataka K, Koda M, Yamazaki M: Characteristic Imaging Findings Predicting the Surgical Risk of Fresh Osteoporotic Vertebral Fractures with Poor Prognostic Features on Magnetic Resonance Imaging. The 41st Annual Meeting of the Royal College of Orthopaedic Surgeons of Thailand (Pattaya, Thailand), October 2019.
 11. Miura K, Koda M, Nagashima K, Noguchi H, Funayama T, Abe T, Kawamoto H, Sankai Y, Yamazaki M: Exercise therapy using Hybrid Assistive Limb for lumbar support improves motor function in the elderly.

The 41st Annual Meeting of the Royal College of Orthopaedic Surgeons of Thailand (Pattaya, Thailand), October 2019.

12. 朝田智之, 安部哲哉, 熊谷 洋, 野口裕史, 船山 徹, 長島克弥, 三浦紘世, 俣木健太朗, 柴尾洋介, 伊澤成郎, 國府田正雄, 山崎正志: 配向連通孔構造を有する β -TCPブロックを用いた側方腰椎椎体間固定術: 椎体間骨癒合過程の解析を中心に. 第48回脊椎脊髄病学会学術集会 (横浜), 4月, 2019.
13. 伊澤成郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 長島克弥, 三浦紘世, 熊谷 洋, 宮本卓弥, 北村充広, 牧 聡, 石川哲大, 相庭温臣, 古矢丈雄, 國府田正雄, 山崎正志: 脊椎手術時に腓骨へ移植したアフィノスはオスフェリオンより緩徐に骨置換する. 第48回脊椎脊髄病学会学術集会 (横浜), 4月, 2019.
14. 國府田正雄, 安部哲哉, 船山 徹, 野口裕史, 三浦紘世, 長島克弥, 熊谷 洋, 俣木健太朗, 柴尾洋介, 山崎正志, 古矢丈雄, 北村充広, 宮本卓弥, 折田純久, 稲毛一秀, 大鳥精司: 第8頸椎神経根障害による下垂指症例に対する椎間孔開放術と前方除圧固定術の比較. 第48回日本脊椎脊髄病学会 (横浜), 4月, 2019.
15. 國府田正雄, 松本佑啓, 安部哲哉, 船山 徹, 野口裕史, 山崎正志, 古矢丈雄, 飯島 靖, 斎藤淳哉, 北村充広, 大鳥精司, 花岡英紀: 医師主導治験「急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いたランダム化・二重盲検試験」進捗報告. 第48回日本脊椎脊髄病学会 (横浜), 4月, 2019.
16. 藤井賢吾, 國府田正雄, 齊藤淳哉, 安部哲哉, 船山 徹, 野口裕史, 三浦紘世, 古矢丈雄, 山崎正志: K-line (+)・局所可動性の大きな頸椎後縦靭帯骨化症に対する頸椎椎弓拡大形成術に単椎間固定術を併用した症例の検討. 第48回日本脊椎脊髄病学会 (横浜), 4月, 2019.
17. 船山 徹, 安部哲哉, 柴尾洋介, 藤井賢吾, 伊澤成郎, 熊谷 洋, 野口裕史, 三浦紘世, 長島克弥, 俣木健太朗, 佐藤康介, 朝田智之, 國府田正雄, 山崎正志: 予後不良MRI所見を有する骨粗鬆症性椎体骨折における椎体後壁損傷と椎体不安定性から見た保存治療抵抗性評価. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (横浜), 4月, 2019.
18. 船山 徹, 安部哲哉, 辰村正紀, 野口裕史, 藤井賢吾, 三浦紘世, 江藤文彦, 長島克弥, 熊谷 洋, 俣木健太朗, 柴尾洋介, 佐藤康介, 伊澤成郎, 朝田智之, 國府田正雄, 山崎正志: 骨粗鬆症性椎体骨折後偽関節に対するXLIF corpectomyの有用性とインプラント関連合併症の検討. 第48回脊椎脊髄病学会学術集会 (横浜), 4月, 2019.
19. 船山 徹, 野口裕史, 熊谷 洋, 安部哲哉, 藤井賢吾, 柴尾洋介, 伊澤成郎, 三浦紘世, 長島克弥, 俣木健太朗, 佐藤康介, 朝田智之, 國府田正雄, 山崎正志: 高齢者の新鮮椎体破裂骨折に対する配向連通 β -リン酸三カルシウム人工骨の骨再生材料としての有用性. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (横浜), 4月, 2019.
20. 俣木健太朗, 國府田正雄, 安部哲哉, 船山 徹, 野口裕史, 三浦紘世, 長島克弥, 熊谷洋, 山崎正志: トモシンセシス神経根造影動態撮影を用いた腰椎神経根障害の新たな画像評価法. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (横浜), 4月, 2019.
21. 俣木健太朗, 國府田正雄, 中山敬太, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 三浦紘世, 野口裕史, 船山

- 徹, 安部哲哉, 加藤良祐, 江島晋, 山崎正志: 頸椎変性モデルの外傷時頸椎挙動解析 – 交通外傷における高齢者非骨傷性脊髄損傷のメカニズム解明に向けて –. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (横浜), 4月, 2019.
22. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 成人脊柱変形に対する三次元歩行動作解析を用いた全脊柱アライメントの動的評価. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (横浜), 4月, 2019.
 23. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 首下がりに対する三次元歩行動作解析を用いたアライメントの動的評価. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (横浜), 4月, 2019.
 24. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 腰部支援用HALを用いた重量物挙上反復動作における腰部負荷軽減効果. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (横浜), 4月, 2019.
 25. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 腰部支援用HALを用いた患者移乗模擬動作における腰部負荷軽減効果. 第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (横浜), 4月, 2019.
 26. 金澤 潤, 増子裕典, 北沢晴奈, 谷田貝洋平, 飯島弘晃, 内藤隆志, 広田朝光, 玉利真由美, 坂本透, 檜澤伸之: アレルギー感作感受性遺伝子群がCDHR3およびTYRO3遺伝子の効果に与える影響. 第59回日本呼吸器学会学術講演会 (東京), 4月, 2019.
 27. 中嶋真之, 松山政史, 川口未央, Mingma Sherpa, 吉田和史, 塩澤利博, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 石井幸雄, 坂本 透, 檜澤伸之: マウスを用いた肺MAC感染症モデルにおけるPD-1, PD-L1の役割. 第59回日本呼吸器学会学術講演会 (東京), 4月, 2019.
 28. 北沢晴奈, 増子裕典, 金澤 潤, 谷田貝洋平, 飯島弘晃, 内藤隆志, 広田朝光, 玉利真由美, 坂本透, 檜澤伸之: BMI, IL6, 高感度CRPに関する遺伝要因と喘息との関連 第59回日本呼吸器学会学術講演会 (東京), 4月, 2019.
 29. 望月美美, 飯島弘晃, 嶋田貴文, 藤原啓司, 石川博一, 増子裕典, 坂本 透, 田辺直也, 佐藤 晋, 室 繁郎, 檜澤伸之: 閉塞性肺疾患におけるflow-volume曲線の視覚的評価と胸部CTの定量評価に関する検討. 第59回日本呼吸器学会学術講演会 (東京), 4月, 2019.
 30. 本多舜哉, 大島央之, 塩澤利博, 重政理恵, 秋山達也, 矢崎 海, 松山政史, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 福田邦明, 坂下信悟, 野口雅之, 関根郁夫, 檜澤伸之: アテゾリズマブによる免疫関連性肝障害に対してミコフェノール酸モフェチルが奏功した1例. 第234回日本呼吸器学会関東地方会 (東京), 5月, 2019.
 31. 安部哲哉, 久保田茂希, 三浦紘世, 門根秀樹, 藤井賢吾, 清水如代, 船山 徹, 古矢丈雄, 國府田正雄, 山崎正志: 急性および亜急性の重度脊髄障害を呈した胸椎後縦靭帯骨化症に対する術後HAL治療の効果. 第92回日本整形外科学会学術総会 (横浜), 5月, 2019.
 32. 國府田正雄, 松本佑啓, 安部哲哉, 船山 徹, 野口裕史, 山崎正志, 古矢丈雄, 飯島 靖, 斎藤淳哉, 北村充広, 大鳥精司, 花岡英紀: 医師主導治験「急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激

- 因子を用いたランダム化・二重盲検試. 第92回日本整形外科学会学術総会 (横浜), 5月, 2019.
33. 國府田正雄, 安部哲哉, 船山 徹, 野口裕史, 三浦紘世, 長島克弥, 熊谷 洋, 俣木健太朗, 柴尾洋介, 古矢丈雄, 山崎正志: 第8頸椎神経根障害による下垂指症例に対する椎間孔開放術と前方除圧固定術の比較. 第92回日本整形外科学会学術総会 (横浜), 5月, 2019.
 34. 野澤大輔, 西野衆文, 日置 繁, 船山 徹, 天野国明, 吉沢知宏, 山崎正志: 当施設における患者のビタミンD充足度. 第92回日本整形外科学会学術集会 (横浜), 5月, 2019.
 35. 野口裕史, 伊澤成郎, 船山 徹, 熊谷 洋, 安部哲哉, 三浦紘世, 飯島 靖, 石川哲大, 相庭温臣, 古矢丈雄, 國府田正雄, 山崎正志: 脊椎手術時に腓骨へ移植した β -TCPの体内挙動の比較—アフィノスはオスフェリオンより緩徐に骨置換する. 第92回日本整形外科学会学術総会 (横浜), 5月, 2019.
 36. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太朗, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 首下がりに対する三次元歩行動作解析を用いたアライメントの動的評価. 第92回日本整形外科学会学術集会 (横浜), 5月, 2019.
 37. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太朗, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 成人脊柱変形に対する三次元歩行動作解析を用いた全脊柱アライメントの動的評価. 第92回日本整形外科学会学術集会 (横浜), 5月, 2019.
 38. 國府田正雄, 久保田茂樹, 清水如代, 安部哲哉, 船山 徹, 三浦紘世, 長島克弥, 俣木健太朗, 山崎正志: 重度脊髄障害患者に対するHybrid Assistive Limb (HAL®)を用いたリハビリテーション治療. (シンポジウム) 日本リハビリテーション医学会 (神戸), 5月, 2019.
 39. 遠藤壯登, 石毛和紀, 溝上裕士, 長谷川直之, 福田邦明: 高齢者の術後再建腸管例における内視鏡的総胆管結石治療の現状と安全性. 第97回日本消化器内視鏡学会総会 (東京), 5月, 2019.
 40. 山田英恵, 肥田憲人, 増子裕典, 坂本 透, 檜澤伸之: 呼吸機能関連遺伝子及びTSLP遺伝子がCOPDフェノタイプに与える影響. 第68回日本アレルギー学会学術大会 (東京), 6月, 2019年.
 41. 金澤 潤, 増子裕典, 重政理恵, 兵頭健太郎, 北沢晴奈, 谷田貝洋平, 飯島弘晃, 坂本 透, 家城隆次, 檜澤伸之: 中高年喫煙者における呼気一酸化窒素濃度に影響を与える因子について. 第68回日本アレルギー学会学術大会 (東京), 6月, 2019年.
 42. 重政理恵, 増子裕典, 金澤 潤, 北沢晴奈, 兵頭健太郎, 谷田貝洋平, 飯島弘晃, 内藤隆志, 坂本 透, 広田朝光, 玉利真由美, 檜澤伸之: 原発性繊毛機能不全症に関連する遺伝子群が喘息に与える影響について. 第68回日本アレルギー学会学術大会 (東京), 6月, 2019年.
 43. 中嶋真之, 松山政史, 川口未央, 荒井直樹, 北沢晴奈, 吉田和史, 兵頭健太郎, 金澤 潤, 山田英恵, 増子裕典, 際本拓未, 森島祐子, 石井幸雄, 坂本 透, 齋藤武文, 檜澤伸: 重症喘息に対するペンラリズムマブ治療早期の有効性の検討. 第68回日本アレルギー学会学術大会 (東京), 6月, 2019年.
 44. 兵頭健太郎, 増子裕典, 重政理恵, 北沢晴奈, 金澤 潤, 谷田貝洋平, 飯島弘晃, 児玉孝秀, 野村明広, 籠橋克紀, 佐藤浩昭, 坂本 透, 齋藤武文, 檜澤伸之: 慢性炎症性肺疾患における増悪関連フェノタイプの検討. 第68回日本アレルギー学会学術大会 (東京), 6月, 2019年.
 45. 北沢晴奈, 増子裕典, 金澤 潤, 重政理恵, 兵頭健太郎, 谷田貝洋平, 飯島弘晃, 内藤隆志, 広田

- 朝光, 玉利真由美, 坂本 透, 檜澤伸之: ORMDL3/GSDMB 遺伝子が喘息に与える影響は GSDMC 遺伝子多型によって異なる. 第68回日本アレルギー学会学術大会 (東京), 6月, 2019年.
46. 杉山雄太郎, 石毛和紀, 遠藤壮登, 長谷川直之, 福田邦明, 溝上裕士, 兵頭一之介: 超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA) で診断した胆嚢印環細胞癌の1例 第108回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 (東京), 6月, 2019.
47. 根本清貴, 太刀川弘和, 新井哲明, 松崎朝樹, 井出征行, 塚田恵鯉子, 太田深秀, 白鳥裕貴: 筑波大学附属病院連携施設での専門医研修のススメ. 第115回日本精神神経学会学術総会 (新潟), 6月, 2019.
48. 加賀屋駿, 大島央之, 際本拓未, 松村聡介, 蔵本健矢, 野中 水, 松山政史, 塩澤利博, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 関根郁夫, 檜澤伸之: 扁平上皮癌後腹膜播種により尿管閉塞から腎盂外尿溢流をきたした1例. 第185回日本肺癌学会関東支部学術集会 (東京), 7月, 2019.
49. 加賀屋俊, 松村聡介, 際本拓未, 蔵本健矢, 大島央之, 野中 水, 松山政史, 塩澤利博, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 家城隆次, 檜澤伸之, 関根郁夫, 松岡亮太, 野口雅之: Hodgkin リンパ腫に対する放射線治療後に, 悪性胸膜中皮腫をきたした一例. 第235回日本呼吸器学会関東地方会 (東京), 7月, 2019.
50. 江藤文彦, 辰村正紀, 長島克哉, 三浦紘世, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 対麻痺を呈した化膿性脊髄炎の1例. 第33回ちば脊椎カンファレンス (千葉), 7月, 2019.
51. 江藤文彦, 辰村正紀, 長島克弥, 三浦紘世, 野口裕史, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. 脊髄が壊死に至り対麻痺を呈した1例. 第52回脊椎外科同好会 (日光), 8月, 2019.
52. 船山 徹: コンドリアーゼで治療した初期2症例の経過報告. ヘルニコアリージョンセミナー in 茨城 (つくば), 8月, 2019.
53. 船山 徹: 胸腰椎前方アプローチ. 第5回筑波千葉カダバーワークショップ (千葉), 8月, 2019.
54. 船山 徹: 腰椎手術前に必ず鑑別しておきたい関節疾患. 第5回筑波千葉カダバーワークショップ (千葉), 8月, 2019.
55. 船山 徹: 新鮮骨粗鬆症性椎体骨折に対する最適な初期治療法確立に向けた研究の立案. 日本骨粗鬆症学会臨床研究サマーセミナー 2019 (幕張), 8月, 2019.
56. 三浦紘世, 長島克弥, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 三次元動作解析を用いた歩行解析による首下がり症候群の脊柱バランスの評価. 第8回 Japan Association of Spine Surgeons with Ambition (JASA) (横浜), 8月, 2019.
57. 三浦紘世, 門根秀樹, 長島克弥, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 遠藤寛興, 村上秀樹, 土井田稔, 河本浩明, 山海嘉之, 山崎正志: 様々な重作業における腰部支援用HALの腰部負荷軽減効果. 第27回日本腰痛学会 (神戸), 8月, 2019.
58. 渡辺理沙, 太刀川弘和, 翠川晴彦, 白鳥裕貴, 山田典子, 妹尾榮一, 新井哲明, 堀 孝文: 自殺に関する感情・行動・認知スケール (SABCS) の検討. 第43回日本自殺予防学会総会 (名古屋), 9月, 2019.
59. 矢口知絵, 山田典子, 太刀川弘和, 白鳥裕貴, 大塚敬士, 妹尾榮一, 堀 孝文: 茨城県こころの医

- 療センターにおける自殺企図患者の動機別検討. 第43回日本自殺予防学会 (名古屋), 9月, 2019.
60. 太刀川弘和, 相羽美幸, 袖山紀子, 高橋 晶: 生きている過去-被災者の抑うつと外傷後ストレスは, 災害後の精神的健康の推移に関連する-. 第39回日本精神科診断学会学術集会 (京都), 9月, 2019.
61. 渡邊 綾, 蔵本健矢, 森島祐子, 松村聡介, 大島央之, 野中 水, 松山政史, 塩澤利博, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 坂本 透, 檜澤伸之: 局所治療の追加により長期生存を得た術後肝転移再発EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の1例. 第176回日本結核病学会関東支部学会 第236回日本呼吸器学会関東地方会 合同学会 (東京), 9月, 2019.
62. 船山 徹, 國府田正雄, 安部哲哉, 野口裕史, 三浦紘世, 長島克弥, 俣木健太郎, 柴尾洋介, 蒲田久典, 山崎正志: L5 OVF変形治癒に対するPVCR後に両側下垂足を呈した1例. 第5回北関東脊椎外科研究会 (伊香保), 9月, 2019.
63. 三浦紘世, 門根秀樹, 長島克弥, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 遠藤寛興, 村上秀樹, 土井田稔, 河本浩明, 山海嘉之, 山崎正志: 様々な重作業における腰部支援用HALの腰部負荷軽減効果. 第27回日本腰痛学会 (神戸), 9月, 2019.
64. 三浦紘世, 國府田正雄, 長島克弥, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 河本浩明, 山海嘉之, 山崎正志: ロコモティブシンドロームに対するHAL腰タイプを用いた運動療法の効果. 第27回日本腰痛学会 (神戸), 9月, 2019.
65. 三浦紘世, 國府田正雄, 長島克弥, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 河本浩明, 山海嘉之, 山崎正志: ロコモティブシンドローム に対するHAL腰タイプを用いた運動療法の効果. 第27回日本腰痛学会 (神戸), 9月, 2019.
66. 熊谷 洋, 佐藤康介, 船山 徹, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 長島克弥, 三浦紘世, 野口裕史, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 配向連通孔構造を有する β -リン酸三カルシウム人工骨と自家骨の混合比が骨癒合に及ぼす影響 - イヌ腰椎後側方固定モデルを用いた検討. 第34回日本整形外科基礎学術集会 (横浜), 9月, 2019.
67. 伊藤嘉美, 長谷川直之, 小野田翼, 永渕美帆, 杉山雄太郎, 鈴木宏清, 廣瀬 優, 新里悠輔, 池田貴文, 石毛和紀, 福田邦明, 兵頭一之介, 溝上裕士: 腓仮性嚢胞に脾破裂・嚢胞内出血を合併し、内視鏡的加療により手術を回避し得た1例. 第356回日本消化器病学会関東支部例会 (東京), 9月, 2019.
68. 新井哲明, 田村昌士, 中野明子, 越部裕子, 太田深秀: 失構音および口部顔面失行を呈したPosterior Cortical Atrophyの1例. 第24回日本神経精神医学会学術集会 (山形), 10月, 2019.
69. 斉藤 剛, 吉本 尚, 高屋敷明由美, 川井田恭子, 白鳥裕貴, 前野哲博: 日本の大学生・大学院生における過剰飲酒と抑うつ状態との関連. 2019年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 (札幌), 10月, 2019.
70. 白鳥裕貴, 太田深秀, 袖山紀子, 小川貴史, 根本清貴, 太刀川弘和, 新井哲明: 健診データにおける抑うつ指標に関連する要因についての観察研究. 第57回全国大学保健管理研究集会 (札幌), 10月, 2019.

71. 大川明日香, 黒堀沙織, 谷田有妙枝, 福島幸子, 岡本祐子, 寺門恵美子, 山崎泰代, 片岡裕司, 鈴木京子, 井桁義行, 古山陽一, 柳町直哉, 袖山紀子, 白鳥裕貴, 長谷川直之, 船山 徹, 久賀圭祐, 太刀川弘和, 太田深秀, 坂本 透: 保健管理センターにおける診療有償化の試み. 第57回全国大学保健管理研究集会 (札幌), 10月, 2019.
72. 廣瀬 優, 長谷川直之, 石毛和紀, 福田邦明, 兵頭一之介, 溝上裕士: ERCP下鉗子生検により診断しえた総胆管コレステローシスの一例. 第55回日本胆道学会学術集会 (名古屋), 10月, 2019.
73. 新里悠輔, 遠藤壯登, 長谷川直之, 石毛和紀, 福田邦明, 溝上裕士: 全身化学療法を施行した切除不能/再発胆道原発神経内分泌癌の4例. 第55回日本胆道学会学術集会 (名古屋), 10月, 2019.
74. 森脇俊和, 長谷川直之, 山本祥之, 山田武史, 金井雅史, 小林省吾, 江口英利, 瀬尾 智, 武富紹信, 吉村健一, 波多野悦朗, 永野浩昭, 井岡達也: 全身状態良好な未化学療法の進行胆道癌症例におけるGlasgow prognostic scoreの有用性. 第57回日本癌治療学会学術集会 (福岡), 10月, 2019.
75. 國府田正雄, 久保田茂樹, 安部哲哉, 船山 徹, 三浦紘世, 長島克弥, 俣木健太郎, 清水如代, 山崎正志: 腰痛に対するHybrid Assistive Limb (HAL®)を用いたロボットリハビリテーション. (シンポジウム)第34回日本整形外科基礎学術集会 (横浜), 10月, 2019.
76. 船山 徹, 安部哲哉, 柴尾洋介, 藤井賢吾, 野口裕史, 三浦紘世, 長島克弥, 俣木健太郎, 國府田正雄, 山崎正志.: 予後不良MRI所見を有する新鮮骨粗鬆症性椎体骨折で手術を要した例の画像的特徴. 第21回日本骨粗鬆症学会 (神戸), 10月, 2019.
77. 俣木健太郎, 國府田正雄, 安部哲哉, 船山 徹, 野口裕史, 三浦紘世, 長島克弥, 熊谷洋, 山崎正志: トモシンセシス神経根造影動態撮影を用いた腰椎神経根障害の新たな画像評価法. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会 (横浜), 10月, 2019.
78. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 成人脊柱変形では平地連続歩行により胸椎後弯と骨盤前傾が増加する-三次元歩行動作解析を用いた動的な脊柱アライメントの解析-. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会パネルディスカッションバイオメカニクス研究の最前線 (横浜), 10月, 2019.
79. 三浦紘世, 門根秀樹, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 河本浩明, 山海嘉之, 山崎正志: 腰部支援用HALを用いた患者移乗模擬動作における腰部負荷軽減効果. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会 (横浜), 10月, 2019.
80. 三浦紘世, 國府田正雄, 長島克弥, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 河本浩明, 山海嘉之, 山崎正志: ロコモティブシンドローム に対するHAL腰タイプを用いた運動療法の効果. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会 (横浜), 10月, 2019.
81. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 成人脊柱変形では平地連続歩行により胸椎後弯と骨盤前傾が増加する-三次元歩行動作解析を用いた動的な脊柱アライメントの解析-. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会 (横浜), 10月, 2019.
82. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲

- 哉, 國府田正雄, 山崎正志: 首下がり症候群に対する三次元歩行動作解析を用いたアライメントの動的評価. 第34回日本整形外科学会基礎学術集会 (横浜), 10月, 2019.
83. 梅山翔平, 野中 水, 松山政史, 松村聡介, 蔵本健矢, 大島央之, 小川良子, 塩澤利博, 中澤健介, 増子裕典, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 檜澤伸之: 局所麻酔下胸腔鏡で診断に至った脊索腫胸膜播種の一例. 第237回日本呼吸器学会関東地方会 (東京), 11月, 2019.
84. 中川翔太, 加藤 啓, 宮下智大, 船山 徹, 三浦紘世, 安部哲哉, 國府田正雄, 大鳥精司, 山崎正志: 初療時に看過され, 麻痺の進行から頸椎椎間関節脱臼の診断に至った3例. 第28回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (つくば), 11月, 2019.
85. 野口裕史, 安部哲哉, 熊谷洋, 俣木健太郎, 長島克弥, 三浦紘世, 柴尾洋介, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志: 予期せずにL4/5椎間にLIFケージが2個設置された成人脊柱変形の1例. 第28回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (つくば), 11月, 2019.
86. 藤井賢吾, 船山 徹, 塚西敏則, 長島克弥, 熊谷 洋, 三浦紘世, 野口裕史, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: PLIFにおいてL5/S1レベルは他のレベルと異なる癒合プロセスを持つか? CT再構成画像を用いた術後画像の解析. 第28回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(つくば), 11月, 2019.
87. 船山 徹, 安部哲哉, 辰村正紀, 江藤文彦, 三浦紘世, 長島克弥, 熊谷 洋, 俣木健太郎, 柴尾洋介, 國府田正雄, 山崎正志: 骨粗鬆症椎体偽関節に対する幅広プレート付き椎体ケージを用いたlateral access corpectomyの有用性とインプラント関連合併症. 第28回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (つくば), 11月, 2019.
88. 船山 徹, 安部哲哉, 辰村正紀, 野口裕史, 江藤文彦, 三浦紘世, 長島克弥, 熊谷 洋, 村上浩平, 辰村正紀, 江藤文彦, 小方陽介, 藤田 開, 須藤彰仁, 山崎正志: L1/2椎体間に対するLIFの工夫 - 第10肋間からのアプローチ -. 第28回日本背椎インストゥルメンテーション学会 (つくば), 11月, 2019.
89. 俣木健太郎, 國府田正雄, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 三浦紘世, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 山崎正志: トモシンセシス神経根動態造影による脊椎固定術後のインプラント近傍の神経根画像評価の有用性. 第28回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (つくば), 11月, 2019.
90. 三浦紘世, 安部哲哉, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 國府田正雄, 山崎正志: 後頭骨頸椎後方手術後に嚥下障害を合併した超高齢者の1例. 第21回茨城脊椎脊髄研究会 (つくば), 11月, 2019.
91. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 首下がりに対する三次元歩行動作解析を用いたアライメントの動的評価. 第28回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (つくば), 11月, 2019.
92. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 成人脊柱変形における歩行による脊椎矢状面バランスの悪化と背筋群の脂肪浸潤との関係 - 三次元歩行動作解析を用いた歩行解析 -. 第28回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (つくば), 11月, 2019.

93. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷 洋, 長島克弥, 俣木健太朗, 野口裕史, 船山 徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 脊柱変形に対する三次元歩行動作解析を用いた脊柱バランスの評価. 第46回日本臨床バイオメカニクス学会学術集会シンポジウム 脊椎のバイオメカ (久留米), 11月, 2019.
94. 長谷川直之, 福田邦明, 溝上裕士: 免疫チェックポイント阻害剤による肝障害に対する治療戦略. 第27回日本消化器関連学会週間 (兵庫), 11月, 2019.
95. 遠藤壮登, 石毛和紀, 長谷川直之, 福田邦明, 溝上裕士: 胆管空腸吻合術後の肝内結石に対する治療の現状. 第27回日本消化器関連学会週間 (兵庫), 11月, 2019.
96. 太刀川弘和, 高橋あすみ, 安宅勝弘, 三井信幸, 布施泰子, 白鳥裕貴, 石井映美, 渡辺慶一郎, 丸谷俊之, 堀 正士, 川島義高, 小田原俊成, 岡本百合, 松原敏郎, 梶谷康介. 「大学生の自殺予防プログラム開発研究」全国調査の経過報告: 第41回全国大学メンタルヘルス学会総会 (大阪), 12月, 2019.
97. 野口裕史, 船山 徹, 佐藤康介, 熊谷 洋, 柴尾洋介, 俣木健太朗, 長島克弥, 三浦紘世, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 配向連通 β -TCP人工骨は、同量以上の移植骨と混合して使用することが望ましいーイヌ腰椎後側方固定モデルを用いた検討ー. 第39回整形外科バイオマテリアル研究会 (札幌), 12月, 2019.
98. 石山ゆり, 池田貴文, 遠藤壮登, 伊藤嘉美, 小野田翼, 鈴木宏清, 杉山雄太郎, 永渕美帆, 廣瀬優, 新里悠輔, 長谷川直之, 石毛和紀, 福田邦明, 兵頭一之介, 溝上裕士: 胆管結石治療後にびまん性胆管狭窄を来たし診断に苦慮した好酸球性胆管炎の1例. 第358回日本消化器病学会関東支部例会 (東京), 2月, 2020.

<講演>

1. 白鳥裕貴: 発達障害とハラスメント. 茨城高専教職員研修会. 7月, 2019.
2. 坂本 透: COPD治療から考える3剤療法の可能性. 第2回とりで喘息ワークショップ (取手), 10月, 2019.
3. 船山 徹: 配向連通孔構造を有する人工骨「アフィノス・リジェノス」の臨床応用. ジンマーバイオメットプロダクトセミナー (東京), 7月, 2019.
4. 船山 徹: 配向連通孔構造を有するベータリン酸三カルシウム (β -TCP) 人工骨の臨床応用ー脊椎疾患を中心にー. 第28回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (つくば), 11月, 2019.
5. 船山 徹: 頸椎人工椎間板ー従来の前方法との違いを中心にー. 第14回千葉・筑波脊椎手術手技講習会 (千葉), 11月, 2019.
6. 船山 徹: 想定外の転帰をたどった症例から学ぶ腰背部痛疾患ー脊椎外科を目指す若手整形外科医のためにー. Young Specialist Spine Seminar ～病診連携を考える～ (つくば), 12月, 2019.
7. 白鳥裕貴: 大学生の自殺予防. 茨城大学ゲートキーパー養成講座. 2月, 2020.

令和3年3月

編集・発行 筑波大学保健管理センター

〒305-8577

茨城県つくば市天王台1-1-1

電話 (029) 853-2401

FAX (029) 853-2402
